上田市文化財調査報告書第68集

KANA HOKO

金鉾遺跡

国補道路改良(主)上田丸子線建設に伴う遺跡発掘調査報告書

1998. 3

上田市・上田市教育委員会
長野県上田建設事務所

上田市文化財調査報告書第68集

KANA HOKO

金鋒遺跡

国補道路改良㈜上田丸子線建設に伴う遺跡発掘調査報告書

1998. 3

上田市・上田市教育委員会
長野県上田建設事務所

例　言

1　本書は、長野県上田市大字本郷字金鉾における、平成８年度国補道路改良㈜上田丸子線建設に伴う、金鉾遺跡発掘調査報告書である。

2　調査は、長野県上田建設事務所の委託に基づき、上田市（上田市教育委員会事務局）が実施した。

3　現地調査は、平成８年11月５日から12月27日まで行った。また、整理作業は、平成９年度中に、断続的に行った。

4　現地調査における重機による表土剥作業及び排土搬出作業は、中沢の指示のもと、専門業者によって実施した。

5　遺構実測の基準となる国家座標に基づくメッシュ杭打ち及び水準点の設置は、専門業者に委託して実施した。

6　遺構実測はメッシュをもとに、簡易やり方により、井沢光子・大井敬子・山本万里が行った。

7　遺物の洗浄・注記・接合・実測・拓本・観察、遺構実測図及び遺物実測図のトレース、報告書作成は、中沢の責任のもと、久保田敦子・久保田浩・望月貴弘・古野明子及び整理作業員が行った。

8　遺構写真は、中沢が撮影したものを主に使用し、一部は業者が撮影したものを使用した。

9　本調査書に係る資料は、上田市立信濃国分寺資料館に保管している。

10　本調査にあたり、下本郷自治会、安藤建設株式会社の皆さんにご協力をいただいた。記して感謝する次第である。

11　本調査に係る調査の体制は次のとおりである。

教　　育　　長：内藤　　尚［平成９年３月31日退任］　我妻　忠夫［平成９年４月１日着任］
教　育　次　長：荒井　鉄雄［平成９年３月31日退任］　宮下　明彦［平成９年４月１日着任］
文化(社会教育)課長：松沢征太郎［平成９年３月31日退任］　川上　　元［平成９年４月１日着任］
文化財（文化）係長：岡田　洋一
文化財(文化)係職員：中沢徳士、尾見智志、塩崎幸夫、久保田敦子、久保田浩、西沢和浩、清水彰、小笠原正
文化財係嘱託：望月貴弘、古野明子、松野ひろみ［以上、平成９年４月１日着任］
現場作業員：田村開作、横沢昇、横沢生枝、村田宣子、山崎透、柳沢栄治、児玉和衛、前山真平、大井敬子、井沢光子、山本万里
整理作業員：大井敬子、井沢光子、山本万里、田村まり子、丸田由紀子、饗場奈那江、石合好江
専門業者：表土剥・運搬…和農興（竹内和好）　現場測量業務…株式会社アイシー
作業員派遣：社団法人上田地域シルバー人材センター

※平成９年４月１日、上田市教育委員会事務局の機構改革により、社会教育課文化係が文化課文化財係となっている。

凡　例

遺　構

1　遺構は、次の（　）内に示す略号で表し、続き番号は任意であり、欠番もある。

ピット（Ｐ－）　ピットにより構成される掘立柱建物址（ＳＴ－）　土壙（ＳＫ－）

2　遺構図版は、原則として国家座標に基づく北を頁の上にした。紙面の都合により例外もあるが、その場合は別途方位を示した。

3　遺構実測図は、原則として原図1/20、縮小1/3とした。

4　表記する遺構が、時代の新しい他の遺構や攪乱等によって破壊を受けたり、不明確な場合は、表記する遺構の推定プランを破線で示した。

5　掘立柱建物址の主軸方位は、国家座標の北と住居址の中軸線とのなす角度で示した。

6　遺構の規模や標高を示す単位は、すべて「m」である。

7　遺構写真図版の縮小は任意である。

遺　物

1　土器実測図は、原図1/1、縮小1/3とした。

2　土器の実測は、４分割法を用い、左1/2に外面を、右1/2に断面及び内面を示した。

3　遺物観察表の「法量」の単位は、cmである。

4　遺物観察表の「器質」の「胎」は胎土を、「焼」は焼成を、「色」は色調を示す。なお、色調は遺物の外面・内面の基本的な色調を、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帳』を用いて示した。

目　次

例言
凡例
第一章　序説 ……1
　1　調査に至る経過 ……1
　2　調査の方法 ……1
　3　調査の経過 ……2
第二章　遺跡の環境 ……3
　1　自然的環境 ……3
　2　歴史的環境 ……3
　3　基本的層序 ……6
第三章　調査の結果 ……7
写真図版

第１図　調査地位置図(1)
第２図　周辺遺跡分布図 ……4
第３図　調査地位置図(2) ……7
第４図　遺構全体図 ……8
第５図　ST-01　実測図 ……9
第６図　ST-02　実測図 ……10
第７図　ST-03　実測図 ……11
第８図　ST-04　実測図 ……12
第９図　ST-05　実測図 ……13
第10図　ST-06　実測図 ……14
第11図　SK-01　実測図 ……14
第12図　SD-01　実測図 ……15
第13図　SD-02　実測図 ……15
第14図　SD-03･04･05実測図 ……16
第15図　ピット実測図(1) ……17
第16図　ピット実測図(2) ……18
第17図　ピット実測図(3) ……19
第18図　ピット実測図(4) ……20
第19図　ピット実測図(5) ……21
第20図　ピット実測図(6) ……22
第21図　ピット実測図(7) ……23
第22図　ピット実測図(8) ……24
第23図　ピット実測図(9) ……25
第24図　ピット実測図(10) ……26
第25図　出土遺物実測図 ……38

第１表　周辺遺跡一覧表 ……5
第２表　遺構観察表(1) ……27
第３表　遺構観察表(2) ……28
第４表　遺構観察表(3) ……29
第５表　遺構観察表(4) ……30
第６表　遺構観察表(5) ……31
第７表　遺構観察表(6) ……32
第８表　遺構観察表(7) ……33
第９表　遺構観察表(8) ……34
第10表　遺構観察表(9) ……35
第11表　遺構観察表(10) ……36
第12表　遺構観察表(11) ……37
第13表　遺物観察表(1) ……39
第14表　遺物観察表(2) ……40

富久多橋
446.7
447.5
神畑橋
寺下駅
超誓寺
神
尚村
大道下
大道
薬師橋
上田南部消防署
449.8
小島
南山起
450.0
457.3
453.6
倉保根池
神畑駅
453.9
産川橋
451.9
452.9
452.8
456.9
誉田別神社
461.4
461.1
455.5
池生神社
小島大池
上原池
落合橋
大学前駅
456.2
465.0
鎌倉橋
新池
小島
467.2
459.2
464.9
八幡大神県社
467.1
市福祉事業センター
中塩田事業所
大下橋
五加学童会館
469.2
五加
下之
女池
0
500m

第１図　調査地位置図（１）

第一章　序　　説

1　調査に至る経過

平成７年秋、長野県上田建設事務所（以下「建設事務所」という。）から、市内築地～下之郷間に、国補道路改良として㈜上田丸子線を建設したいという協議があった。この区間内には、周知の埋蔵文化財包蔵地としていくつかの遺跡が存在し、金鉾遺跡もその中のひとつであった。当時の上田市教育委員会事務局社会教育課（現文化課。以下「事務局」という。）では、工事に先立ち、これらの遺跡の確認試掘調査が必要である旨を回答し、協議の結果、用地買収がまとまり次第試掘調査を実施し、その結果をみて改めて協議することとした。

事務局では、平成７年冬～８年春、用地買収の見込みがとおった本郷地域・金鉾遺跡の試掘調査を２次にわたって試掘調査した結果、同遺跡は奈良～平安時代の遺跡で、道路建設予定ルート上で約1,200㎡かかることが確認された。

これ以前、事務局と建設事務所は、予算計上の必要から、調査面積2,000㎡、調査費12,759千円と想定し、これに沿って平成８年６月６日、委託契約を締結し、調査に着手した。（この後、上記の事由により、平成９年２月３日、調査面積1,200㎡、調査費5,386千円で変更契約を締結した。）

2　調査の方法

(1) 遺跡名と遺跡記号

遺跡名は、『長野県市町村遺跡分布図』(昭和52年長野県教育委員会)、『上田市文化財分布地図』(昭和54年上田市教育委員会)、『全国遺跡地図　長野県』(昭和58年文化庁文化財保護部)、『長野県史』(長野県史刊行会）記載の「金鉾遺跡」とした。

また、記録の便宜を図るため遺跡記号として、ＫＡ－ＮＡ－ＨＯ－ＫＯの頭文字を組み合わせて、「ＫＮＨ」とした。各種の記録や遺物の注記にあたっては、この略記号を用いた。

(2) 調査範囲の設定と掘り上げ

調査範囲は、道路建設によって遺構が破壊される部分及び調査不可能となる部分に設定した。おおまかな表土の除去はバックホーにより行い、その後の遺構検出や遺構の掘り上げは、すべて人力で行った。

(3) 遺構記録の方法

調査地区には、国家座標に基づく３×３ｍのメッシュをはり、メッシュの交点に記号を与えグリッド番号とした。この記号は、基準点を０とし、方向を示すために東・西・南・北にＥ・Ｗ・Ｓ・Ｎを、距離を表すため、３ｍを１単位として１・２・３・４…を与え、この両者の組合せによって表した。例えば、基準点０から北に96ｍ、東に57ｍのメッシュの交点は、Ｎ32Ｅ19となる。遺構平面測量は、このメッシュによる簡易やり方によって行っている。また、記録は測量用航空写真撮影も行い、記録として保存した。グリッドは、メッシュの交点を北西とする記号で表し、遺構外出土遺物に関してはこのグリッドによって取り上げた。

なお、基準点０の座標値は、国家座標第Ⅷ量系Ｘ＝41,103.000、Ｙ＝－25,704.000で、使用したベンチマークは、標高455.179ｍである。

3　調査の経過

平成８年

６／６　長野県上田建設事務所長と上田市長の間で、本調査に係る平成８年度分委託契約を締結する。

11／５　調査担当者指示のもと、バックホーによる表土除去作業を開始する。

11／８　排土の置き場がなくなってきたため、建設工事受注者の安藤建設㈱現場代理人水沢氏と協議し、ダンプカーで現場東の橋脚建設予定地に搬出する。

11／12　表土剥を行う一方で、作業員を投入して、遺構検出作業にとりかかる。

11／18　昨夜来の雨で現場がぬかるんだため、作業員が入る場所に筵を敷いて、遺構の掘り上げを行う。

11／21　表土剥作業が一段落したものの、遺構掘り上げで出る土の置き場を確保するため、引き続きバックホーで排土の整理を行う。

11／25　メッシュ張りが完了し、遺構配り図の作成にかかる。ピット総数約300件、掘立柱建物址５件、溝址が３件確認できた。

11／26　遺跡調査地と隣り合わせで道路工事が開始される。

11／28　昨日来の雨で午前中は現場に入れず、土器洗いを行う。午後から現場作業と並行して排水作業を行う。

12／９　朝夕の冷え込みが厳しくなり、現場が凍土となり、掘り上げが進捗しない。

12／19　現場のぬかるみが解消せず、作業の進捗は芳しくない。

12／20　昨夜来の雪で現場が真っ白となる。

12／25　翌日の空中写真撮影に備え、遺構の全体清掃を行う。凍み上がりがきつく、調査地の土が浮き上がっており、正確な記録採取には、冬場の調査が向いていないことを痛感する。

12／26　専門業者による空中写真撮影を行う。冬場特有の陽射しで、ハレーションが心配される。午後、現場近くを流れる産川で筵や器材を洗う。

12／27　現地調査を終了する。

平成９年

６／11　長野県上田建設事務所長と上田市長の間で、本調査事業に係る平成９年度分委託契約を締結し、遺物実測・トレース等、遺物整理・報告書作成作業を再開する。

平成10年

３／25　報告書を刊行し、すべての調査事業を終了する。

第二章　遺跡の環境

1　自然的環境

長野県の東部に位置する上田地域は、千曲川に展開する小盆地である。上田盆地は、北西流する千曲川によって左岸と右岸に分けられ、本遺跡の所在する左岸は、北西方に川西山地があり、浦野川を挟んで南部には、川西丘陵、塩田山地、独鈷山脈と、小牧山に囲まれて川西地方がある。

上田市域の西半部を占める川西地方には、幾つかの河川が流れるが、水量は著しく乏しい。この地方の基本的な地形は、河川による水蝕営力よりむしろ、第三紀末時代からの地殻運動や浸食によって、洪積紀には湖沼化、そこに泥岩や砂岩等の堆積があり、それが地盤の隆起により、陸化するのに伴い、再び現河川の営力による扇状地堆積層をのせたところによる。この扇状地は、普通の常識と異なり、一般に粘土層、砂利層で、礫層はわずか現河岸付近に見られるだけである。この土壌が不透水性で保水力が強い粘土質であること、地下水も１～３ｍと浅く、グライ層が発達していることが、この盆地の特色である。

この川西地方はさらに、浦野川流域（約94㎢）と産川流域（約67㎢）とに分けられる。今回調査した金鉾遺跡は、後者の産川流域に属し、産川は、大明神岳（1,230m）と独鈷山（1,266m）を水源とする。産川流域には、支流として湯川、尾根川が流れ、この２支流によって楕円形状の、いわゆる塩田盆地(34㎢)が形成されている。遺跡周辺の地域では、産川は駒瀬川と合流し、浸食力を増し、下刻も一段と進んでおり、３段の段丘を形成している。第３段丘は現河川の沖積氾濫原で、第１・２段丘は、現河床よりも５～８ｍ高い。ところで、上田地域の年間降水量は、1,000㎜以下の寡雨地帯である。また、河川の水源となる山地も浅いため、湧水量も少なく、塩田盆地全体の水田開発は、導水と100余りの溜め池によっている。したがって、この第１・２段丘の開発は、上流部からの余水導入を待たなければならない。

金鉾遺跡は、この産川下流域第２段丘に位置し、標高は、455m前後を計る。

2　歴史的環境

金鉾遺跡の所在する塩田平で最も古い遺跡は、湯川上流別所地区の塩水遺跡と、比蘭樹遺跡で、縄文時代早期の芽山式土器が表採されている。続く前期の遺跡としては、やはり別所地区の北浦遺跡、産川上流手塚地区の堰口ノ一遺跡、産川中流域前山地区の神戸遺跡が知られる。堰口ノ一遺跡では、昭和60年の発掘調査により、諸磯Ｃ式期の住居址が検出している。また、堰口ノ一遺跡に隣接する五反田遺跡や、富士山の上大郷遺跡からも諸磯Ｃ式期の土器片が出土している。中期の遺跡としては、産川の上～中流域両岸に点在し、勝坂・加曽利Ｅ式期に比定される遺跡が多い。産川中流の検田見遺跡では、該期の遺構・遺物が発掘調査され、塩田平の標識的な遺跡となっている。後期では、堀之内式や加曽利Ｂ式を出土する梨ノ木遺跡、平成３年の畑地帯総合土地改良工事中に発見、住居址が調査された上大郷遺跡が知られる。上大郷遺跡の調査では、堀之内式期の敷石住居跡が確認されている。晩期については、現在確認されていない。

弥生時代の遺跡も、産川の流域に点在し、昭和30年には八幡一郎氏らにより、諏訪畑遺跡が調査されたのをはじめ、昭和45年には五十嵐幹夫氏らにより枠木遺跡が、昭和47年には小林幹夫氏らにより西光坊遺跡・向田遺跡が発掘調査され、追開沢流域では、昭和58年に五十嵐幹夫・塩入秀敏氏らにより和手遺跡がそれぞれ発掘調査され、後期箱清水式期の遺構と土器を検出している。中でも、和手遺跡出土の土器セットは、当地域の該期の指標として、良好な資料を提供している。一方、前・中期の遺跡については、明らかになっていない。

古墳時代の遺跡としては、平成４～５年度に発掘調査した別所地区の宮の前遺跡で、古墳時代初頭の住居址が７件確認されている。また、前述の枠木遺跡・西光坊遺跡では、古墳時代前期の住居址から良好な

第２図　周辺遺跡分布図

0　　1000m

番号	遺　跡　名	時　代	遺跡の所在地	番号	遺　跡　名	時　代	遺跡の所在地
104	惣明遺跡	縄・弥	神畑字惣明	205	北在家遺跡	縄・平	五加字北在家
107	箕輪遺跡	平安	築地字箕輪	206	南在家遺跡	縄～平	五加字南在家
108	浦田遺跡	縄～平	築地字浦田	207	八丁遺跡	平	五加字八丁
109	塚原古墳群	古	上田原字塚原	208	宮浦遺跡	弥・平	上本郷字宮浦
110	上田原遺跡	縄～弥	上田原字本町・中島	209	五加遺跡	縄～平	五加字水口在家他
111	築地遺跡	縄～平	築地字蔵の台・屋敷	223	新田遺跡	平	中野字新田
112	宮脇遺跡	弥・平	吉田字宮脇	224	池の下遺跡	平	十人字池の下
113	堀之内遺跡	縄・平	築地字堀の内	282	鍛冶屋敷遺跡	縄	中野字鍛冶屋敷
114	太田遺跡	弥	神畑字太田	283	和手遺跡	平	中野字和手
115	宮島遺跡	縄～平	吉田字宮島	284	加生遺跡	縄・弥	十人字加生
116	東村遺跡	古～平	福田字東村・中村外	324	八幡山古墳	古	小泉字八幡山
117	手矢塚古墳	古	神畑字手矢塚	325	八幡山遺跡	平	小泉字八幡山
118	反田遺跡	平	福田字反田	326	琵琶塚遺跡	弥～平	小泉字琵琶塚・町裏
119	西村遺跡	古・平	神畑字西村	327	琵琶塚古墳	古	小泉字琵琶塚
120	向村遺跡	縄～古	神畑字向村	328	日向小泉1号古墳	古	小泉字宮ノ入
121	菱池遺跡	縄～平	小島字菱池	329	日向小泉2号古墳	古	小泉字東村
122	北山越遺跡	平	本郷字北山越	330	日向小泉3号古墳	古	小泉字西村
123	起遺跡	平	本郷字起	331	日向小泉4号古墳	古	小泉字寺住平
124	埴田遺跡	弥～平	本郷字埴田	332	日向小泉5号古墳	古	小泉字蛇川原入
125	中井遺跡	弥～平	保野字中井	333	西寺畑遺跡	縄～平	小泉字西寺畑
126	青木遺跡	弥～平	保野字青木	334	旗鉾遺跡	縄～平	小泉字旗鉾
127	樋田遺跡	平	小島字樋田	335	鍛冶山古墳	古	小泉字鍛冶山
128	道添遺跡	縄～平	本郷字道添	336	鍛冶山遺跡	弥	小泉字鍛冶山
129	下窪遺跡	平	本郷字下窪	337	大道下遺跡	弥	小泉字大道下
130	下川原遺跡	平	本郷字下川原	338	和合遺跡	縄～平	小泉字和合
131	金鉾遺跡	平	本郷字金鉾	339	将軍塚古墳	古	小泉字和合
132	上原遺跡	平	本郷字上原	383	高田遺跡	古・平	小泉字高田
133	前田遺跡	平	小島字前田	384	長谷田遺跡	弥	小泉字長谷田
134	屋敷遺跡	平	小島字屋敷	385	扇田古墳	古	吉田字扇田
135	善明遺跡	縄	本郷字善明	386	東村経塚	近	吉田字東村
136	下川原遺跡	平	五加字下川原	387	原田遺跡	平	吉田字原田
137	宮原遺跡	弥～平	五加字宮原	388	口明塚古墳	古	保野字口明塚
138	神戸遺跡	縄～平	五加字神戸	389	富士塚古墳	古	保野字富士塚
139	神戸古墳	古	五加字神戸	390	下宿遺跡	弥～平	保野字下宿
140	梅の木遺跡	平	五加字梅の木	391	上宿遺跡	平	保野字上宿
141	梨の木遺跡	平	五加字梨の木	392	元屋敷遺跡	平	保野字元屋敷
142	内堀遺跡	弥～平	五加字内堀	393	飯縄腰遺跡	縄	中野字飯縄腰
143	北股遺跡	平	五加字北股	396	久保遺跡	弥	中野字久保
145	十火矢遺跡	平	下之郷字十火矢	437	浦沖遺跡	平	舞田字浦沖
151	東原田遺跡	平	下郷字東原田	441	小泉条里水田跡	弥～平	小泉
202	南股遺跡	平	五加字南股	446	下之条条里水田跡	弥～平	下之条
203	吹上遺跡	縄・平	五加字吹上	448	内堀居館址	中	五加字内堀
204	富在家遺跡	弥～平	五加字富在家	454	小泉下の城跡	近	下室賀字朝日山

（時代の「縄」は縄文、「弥」は弥生、「古」は古墳、「奈」は奈良、「平」は平安、「中」は中世、「近」は近世の各時代を示す）

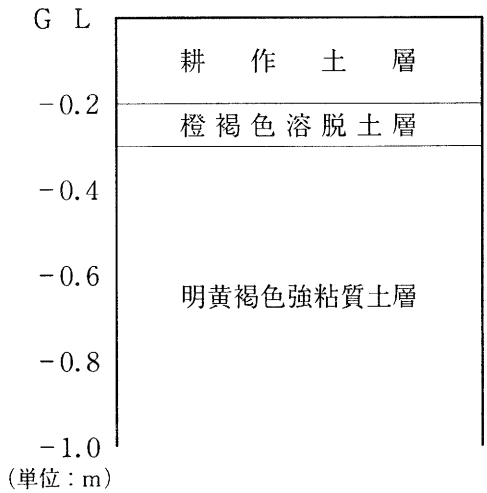
第１表　周辺遺跡一覧表

土器セットが出土し、該期の代表的な遺跡となっている。古墳としてはまず、新町の王子塚古墳が、塩田平最大・最古の帆立貝式古墳（あるいは前方後円墳か）としてあげられる。金鉾遺跡の東山中の下之郷古墳群は、後期の群集墳で、40基余りを数える。中でも、他田塚古墳と塚穴原１号墳は、発掘調査の結果、６世紀後半に属することが判明し、その規模において、この古墳群の盟主的な存在と考えられている。

奈良・平安時代、上田地域には令制東山道が通り、信濃国分寺が造営され、信濃国府も置かれていたと考えられている。また、金鉾遺跡に近接する延喜式内社の生島足島神社は、宮中で信奉される生島・足島２神を祀り、大地を御神体とする古い形式の神社で、大和朝廷に近い国造の存在も想定されている。遺跡では、生島足島神社にほど近い天神遺跡から25件の該期の住居址が検出されているほか、前述の枠木遺跡・西光坊遺跡でも住居址が確認されている。また、保野地区の中井遺跡では、該期の掘立柱建物址や井戸跡、前述の宮の前遺跡では、10件余りの住居址とともに掘立柱建物址群が検出されている。

中世以降については、塩田城跡などの城館跡や塩野神社等の延喜式内社、鎌倉・室町期創設の寺院などが塩田平に数多く残り、国宝・重要文化財が群をなしている。近世には、上田藩の穀倉地帯として、現在の田園風景を形成したが、現在は宅地化が進み、その風景も変わりつつある。

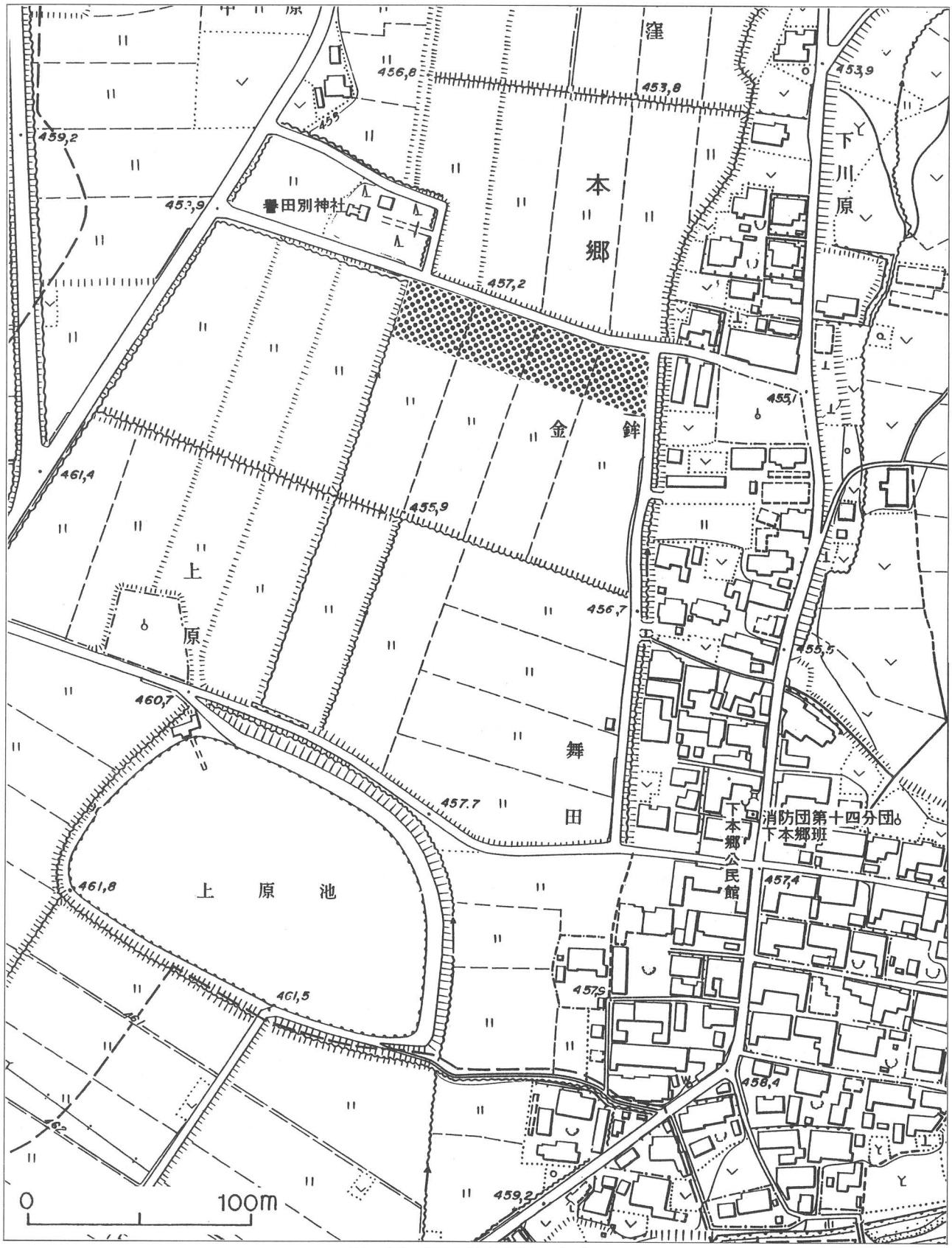
3　基本的層序



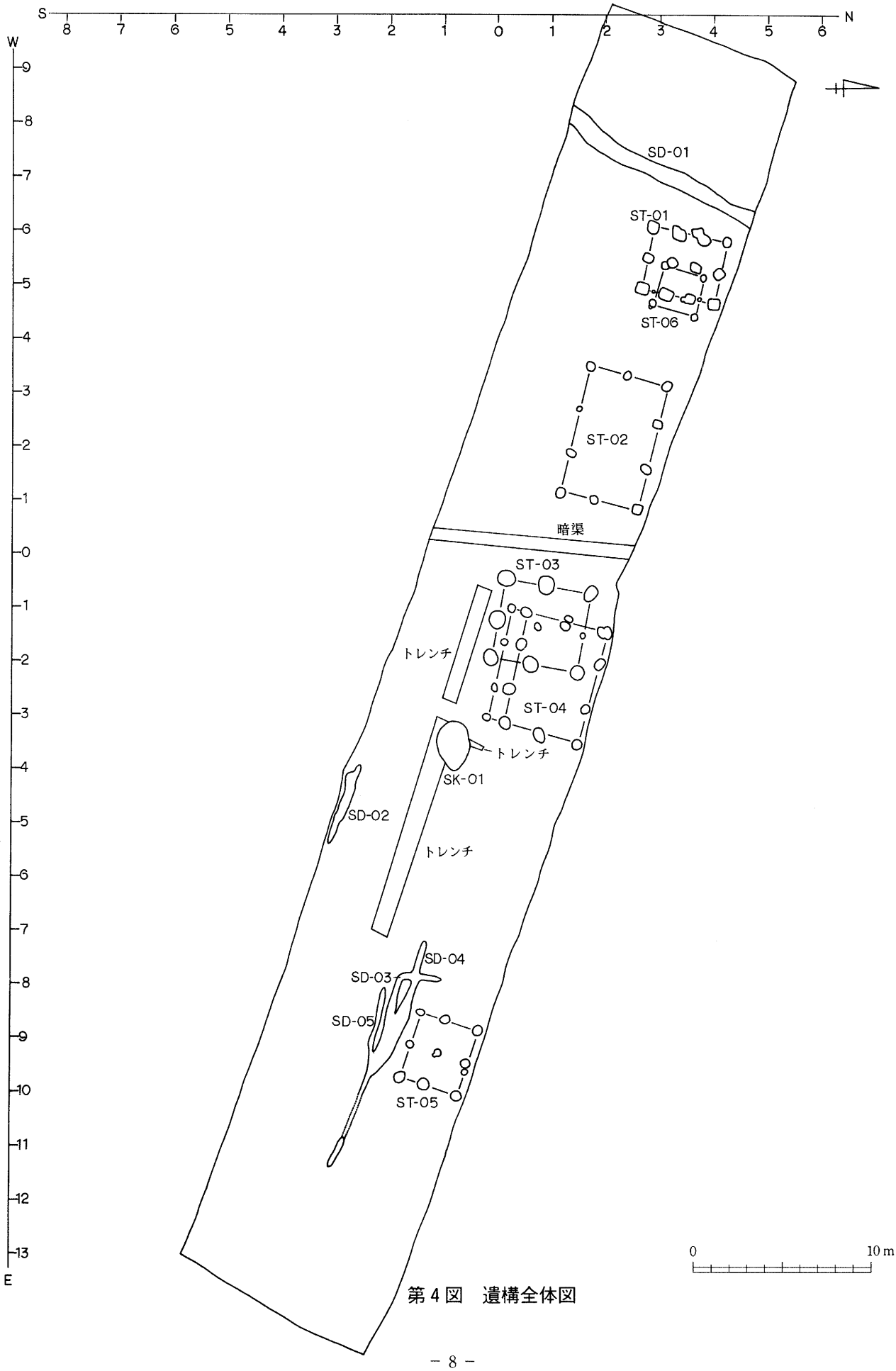
調査地は産川の第２段丘に立地する。遺跡付近の微地形を観察すると、遺跡の西端には第１段丘の法面が２ｍくらいの比高差で立ち、東の限界には、第２段丘の微段丘の境となる水路が産川と平行して流れている。遺跡はこの微段丘上にあり、北東に向かい緩く傾斜している。この地区はかつて、ほ場整備が行われているが、原地形を踏襲する形で行われ、水田の区画を整理した程度で済んでいるため、土層の攪乱は少ない。

土層は、約20cmの耕作土の直下に、鉄分が抜けて沈んだ橙褐色の溶脱層が10cmの厚さで存在し、この２層を剥ぐと遺構が検出する明黄褐色の強粘質土層が現れる。この土は塩田平に特徴的な強粘度で、通称「ネバ(土)」といわれている。この土は保水性に富む一方、乾くと堅く締まり、湿ると泥寧となる。

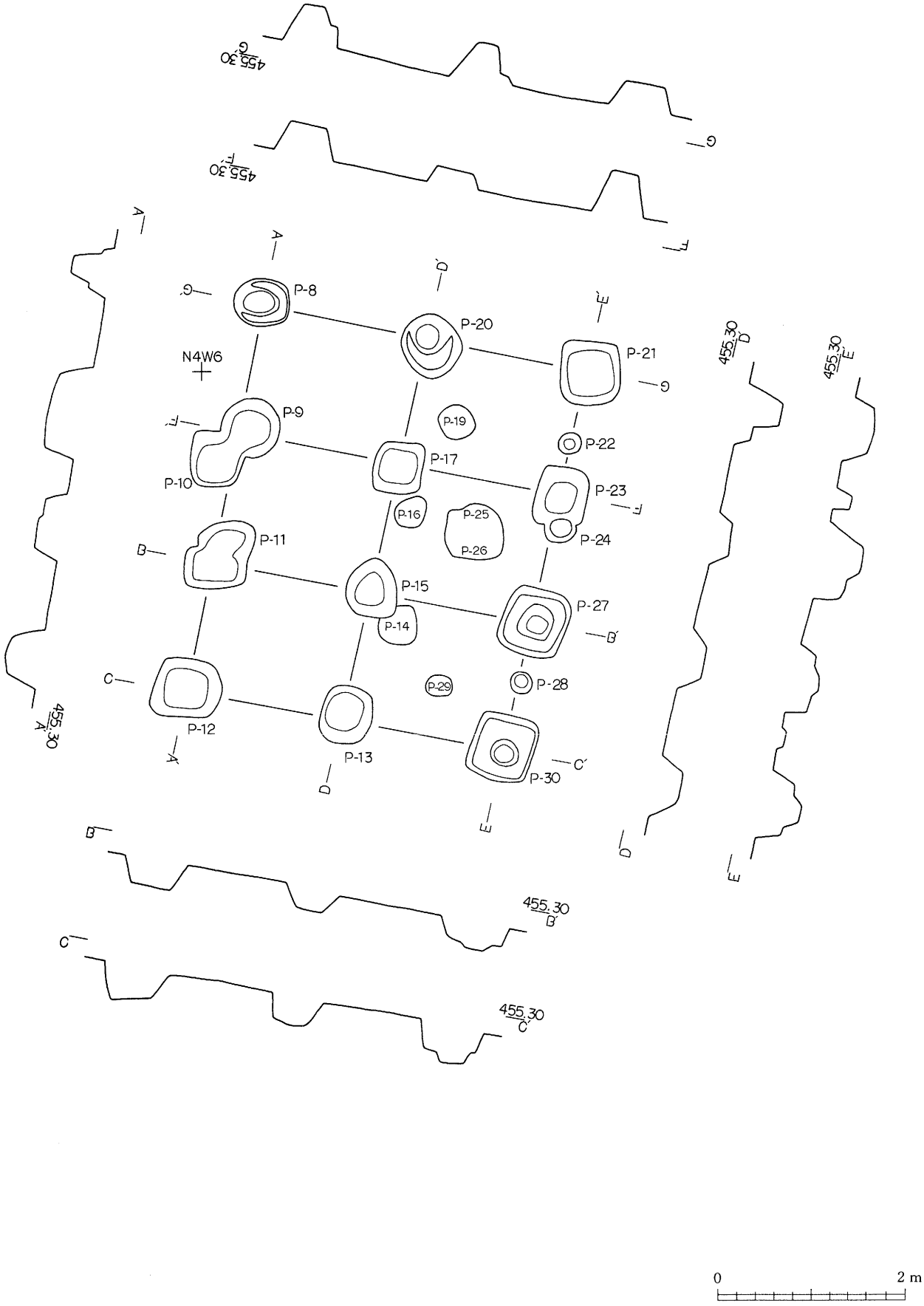
第三章　調査の結果



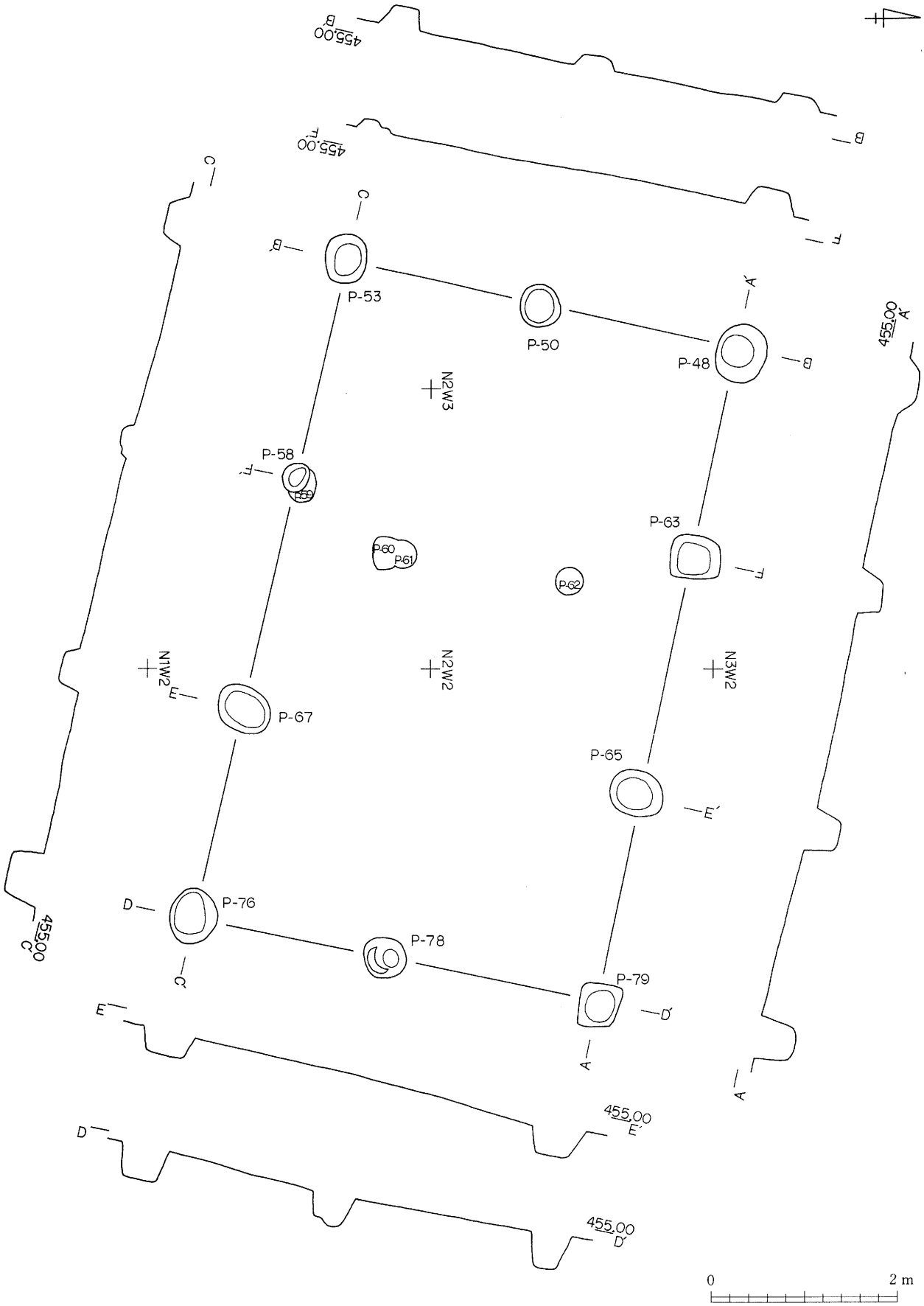
第３図　調査地位置図（２）


S
N
W
E
SD-01
ST-01
ST-06
ST-02
暗渠
ST-03
トレンチ
ST-04
トレンチ
SK-01
SD-02
トレンチ
SD-04
SD-03
SD-05
ST-05
0
10 m

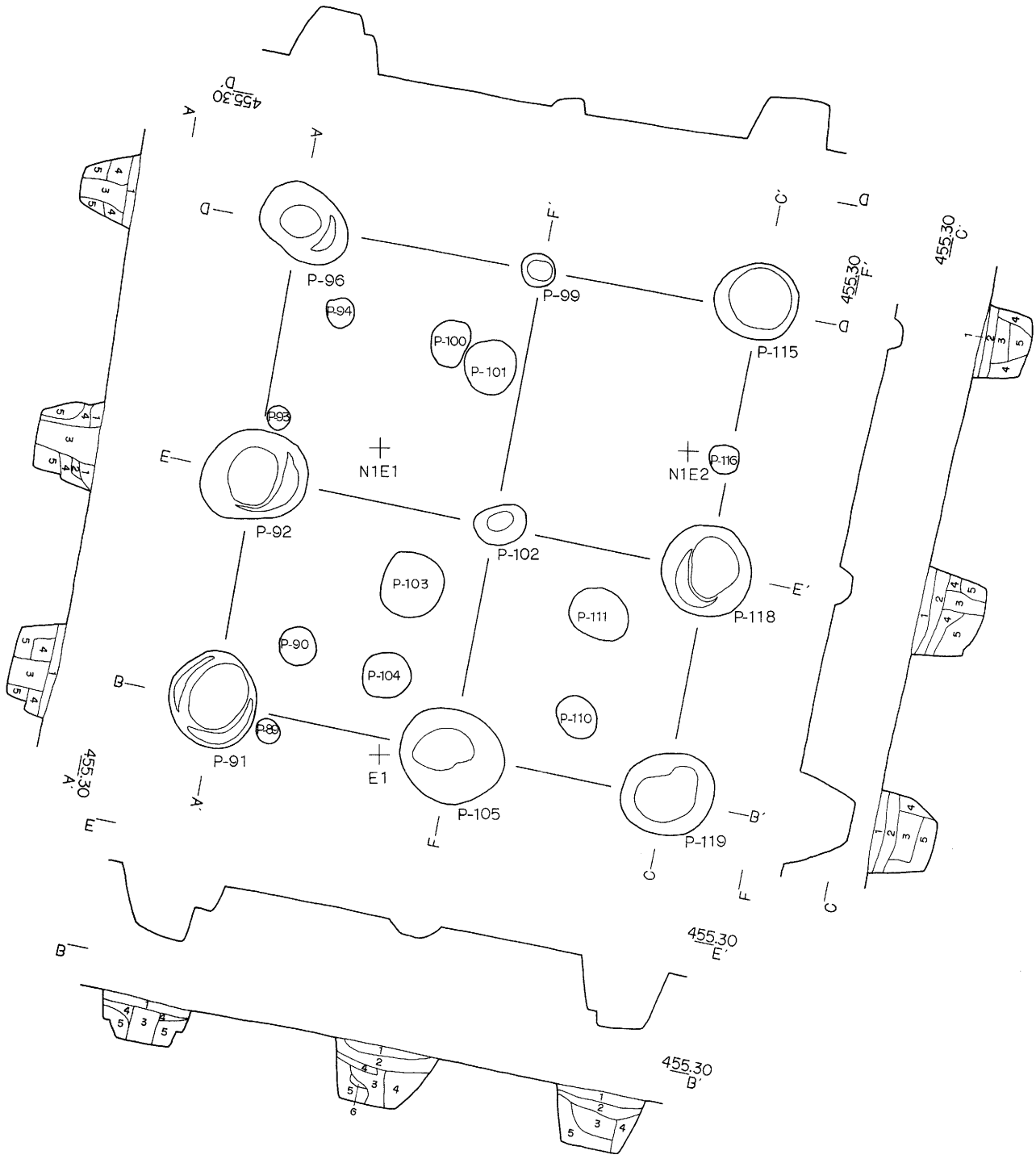
第４図　遺構全体図


455.30
A'
455.30
B'
455.30
C'
455.30
D'
455.30
E'
455.30
F'
455.30
G'
A
B
C
D
E
F
G
N4W6
P-8
P-9
P-10
P-11
P-12
P-13
P-14
P-15
P-16
P-17
P-19
P-20
P-21
P-22
P-23
P-24
P-25
P-26
P-27
P-28
P-29
P-30
0
2 m

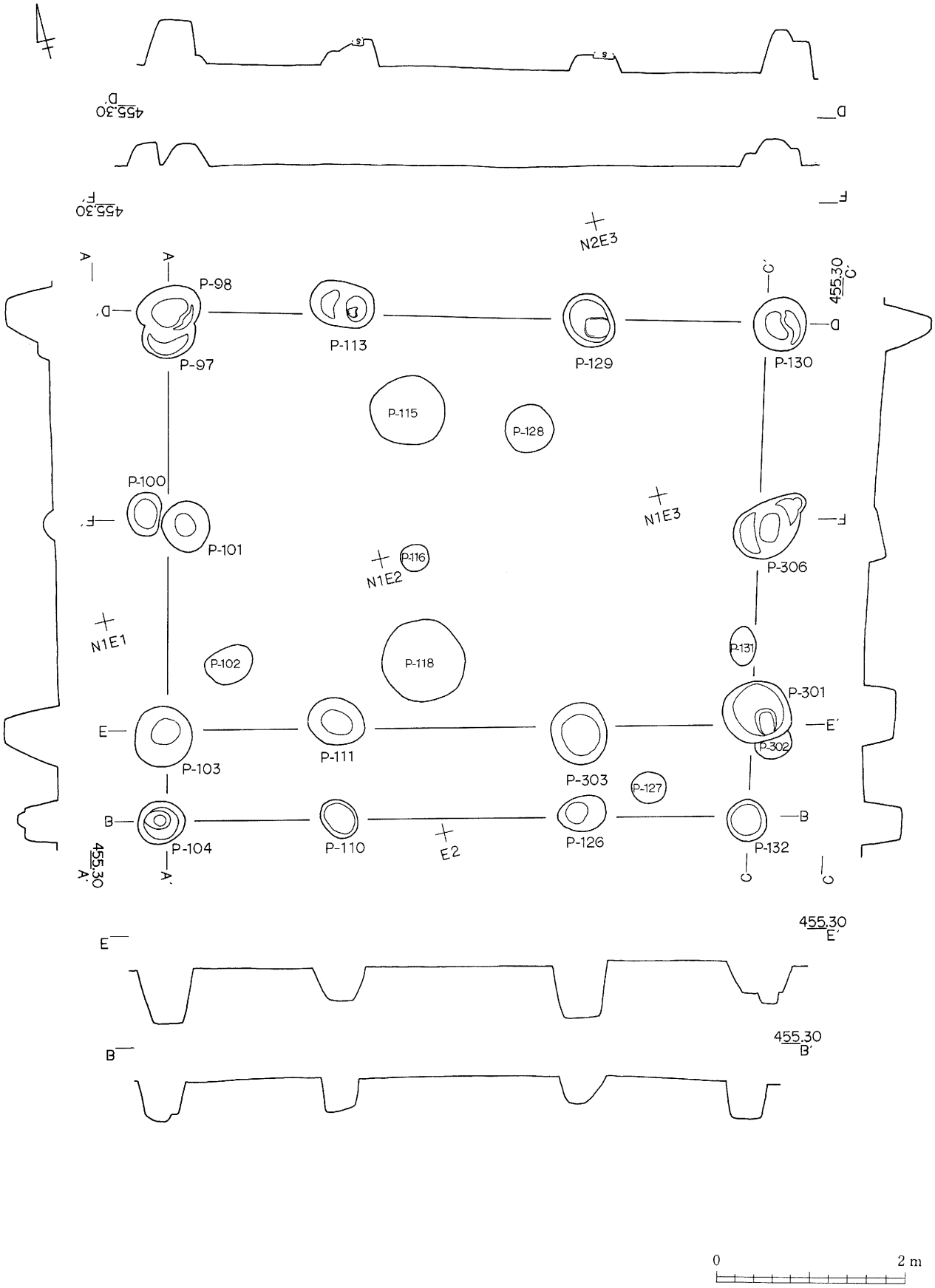
第５図　ＳＴ―０１実測図


455.00
B'
455.00
F'
B
C
B'
P-53
P-50
A'
P-48
B
455.00
A'
N2W3
P-58
F'
P-59
P-63
P-60
P-61
P-62
F
N1W2
E'
N2W2
N3W2
P-67
P-65
E'
D
P-76
455.00
C'
P-78
C
P-79
D'
E
A
A
455.00
E'
D
455.00
D'
0
2 m

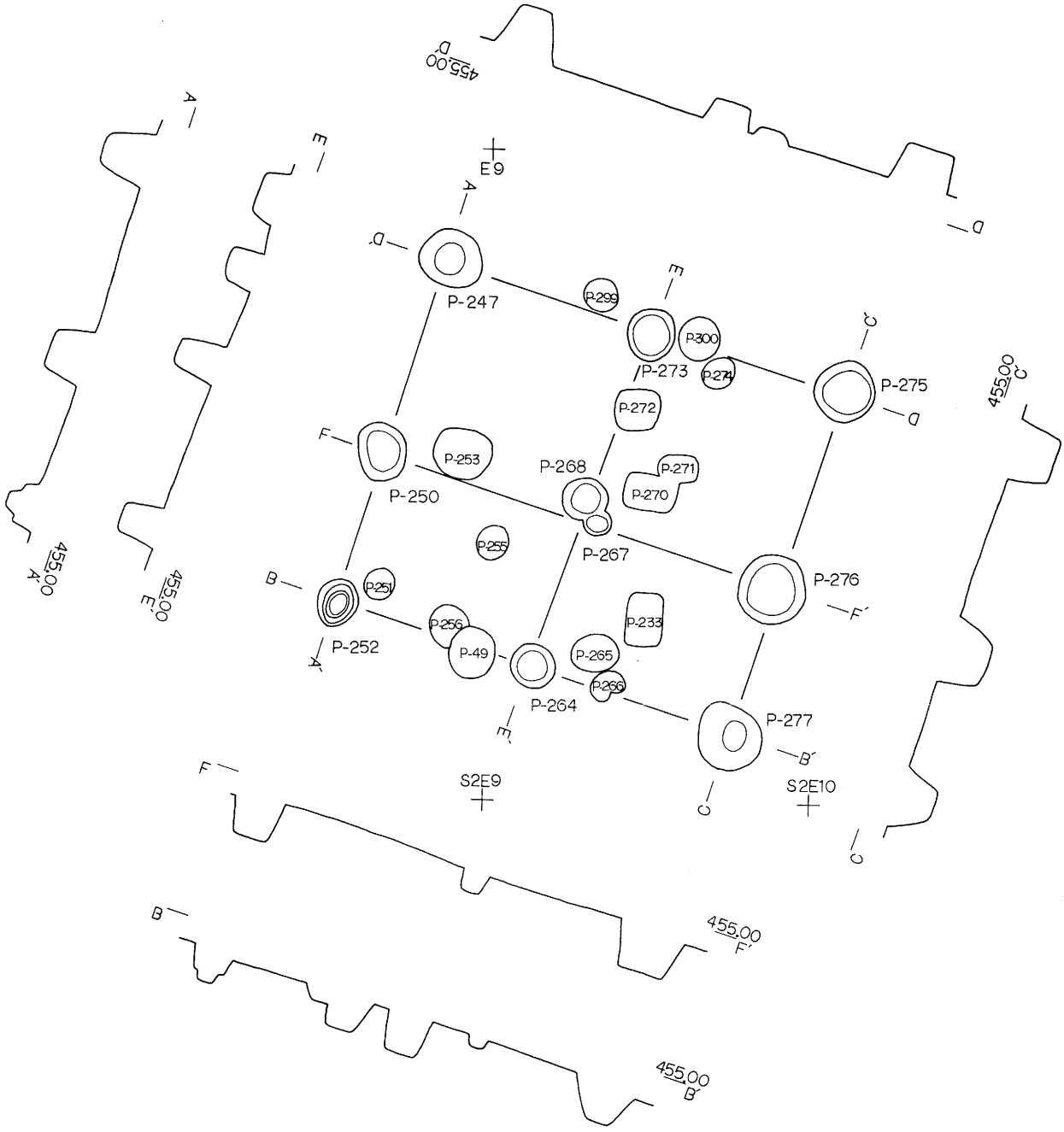
第６図　ＳＴ―０２実測図


455.30
A'
455.30
B'
455.30
C'
455.30
D'
455.30
E'
455.30
F'
A
B
C
D
E
F
P-96
P-99
P-115
P-94
P-100
P-101
P-93
P-92
N1E1
N1E2
P-116
P-102
P-118
P-103
P-111
P-90
P-104
P-110
P-91
P-89
E1
P-105
P-119
0
2 m

第７図　ＳＴ－０３実測図

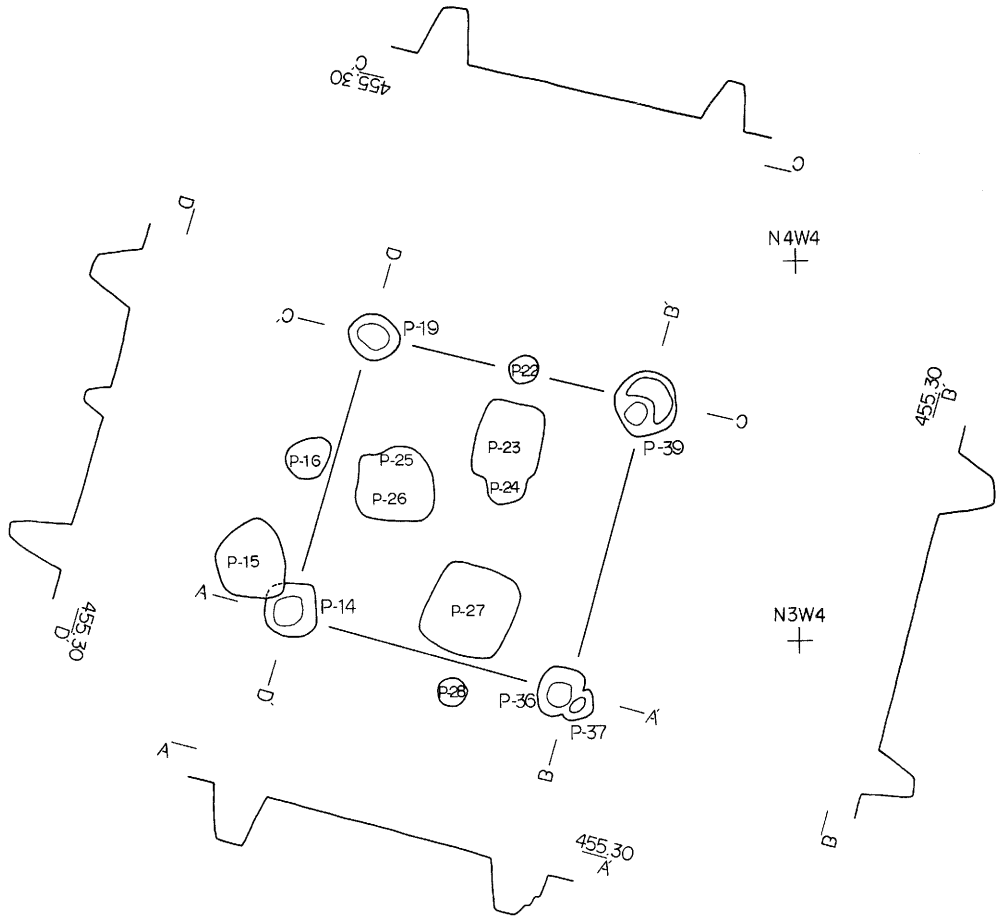

P-98
P-97
P-113
P-129
P-130
P-115
P-128
P-100
P-101
N2E3
N1E3
N1E2
P-116
P-306
N1E1
P-102
P-118
P-131
P-301
P-302
P-103
P-111
P-303
P-127
P-104
P-110
P-126
P-132
E2
455.30
0
2 m

第８図　ＳＴ―０４実測図

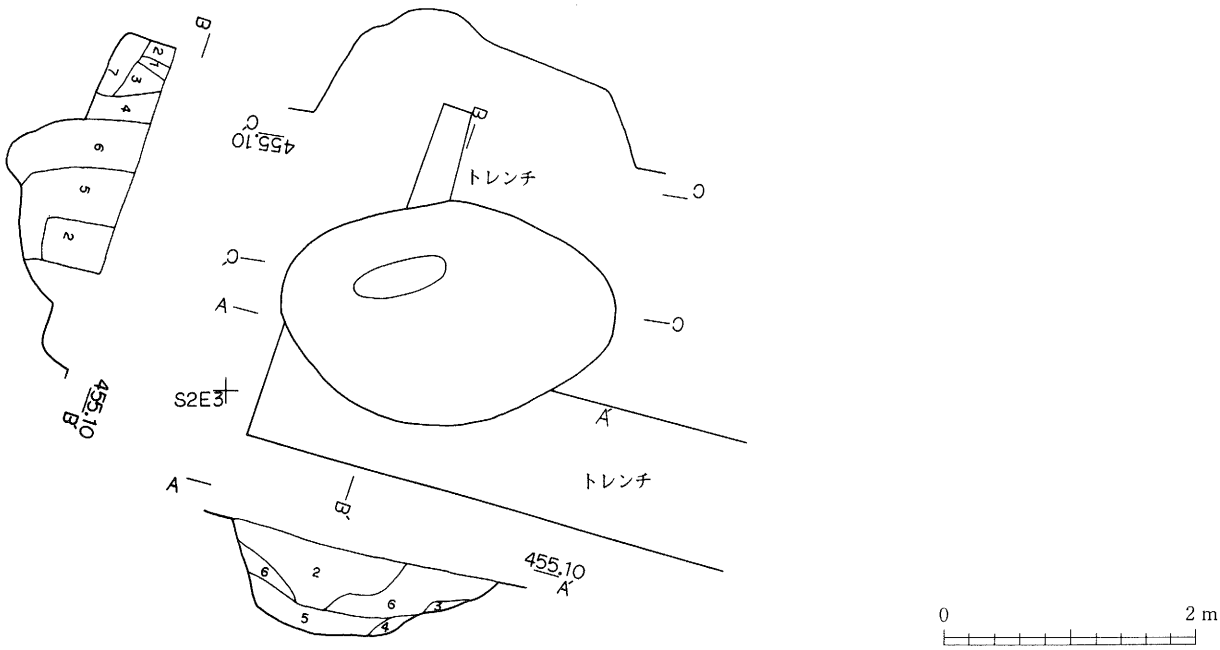


0 2 m

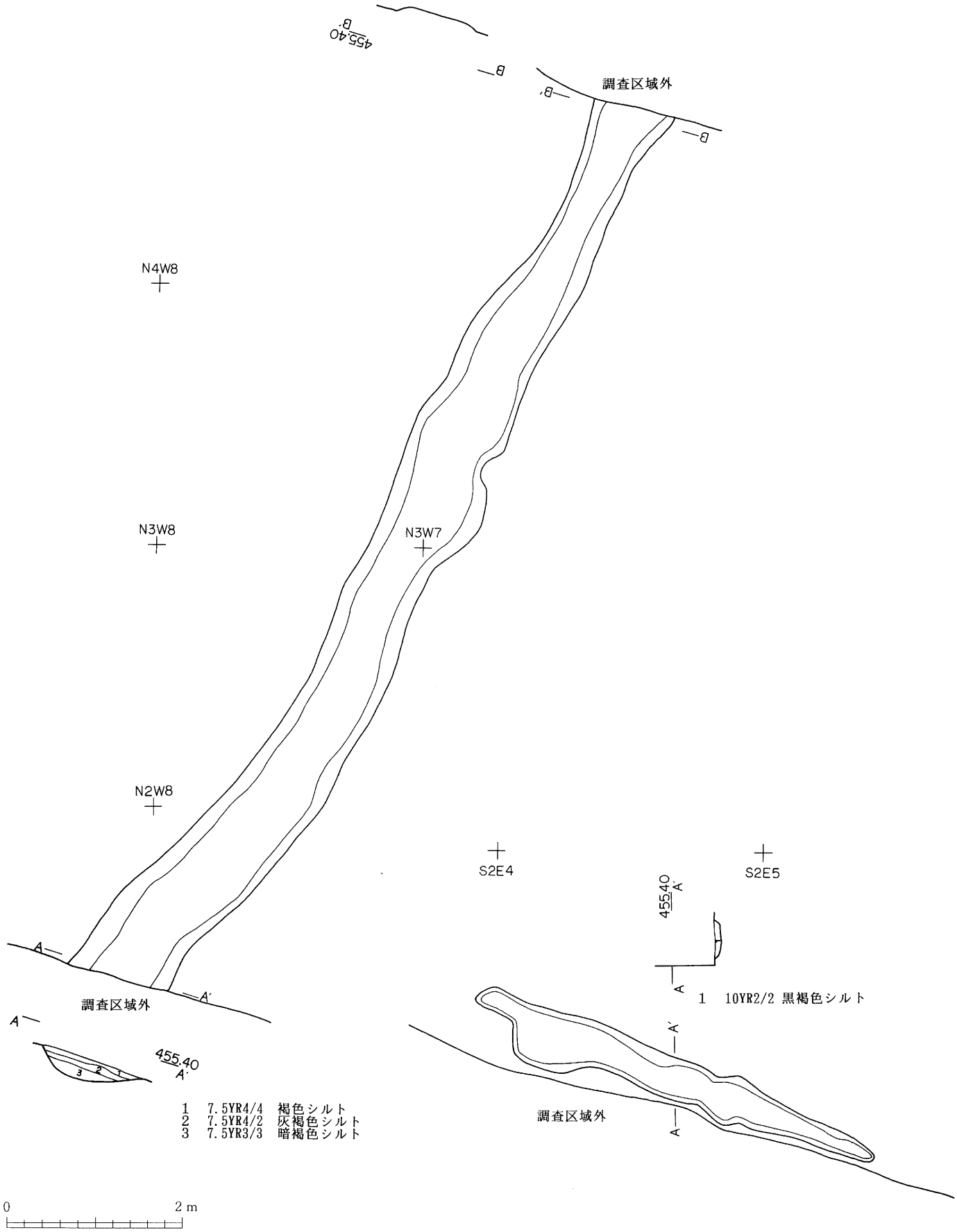
第９図　ＳＴ―０５実測図



第10図　ＳＴ―０６実測図

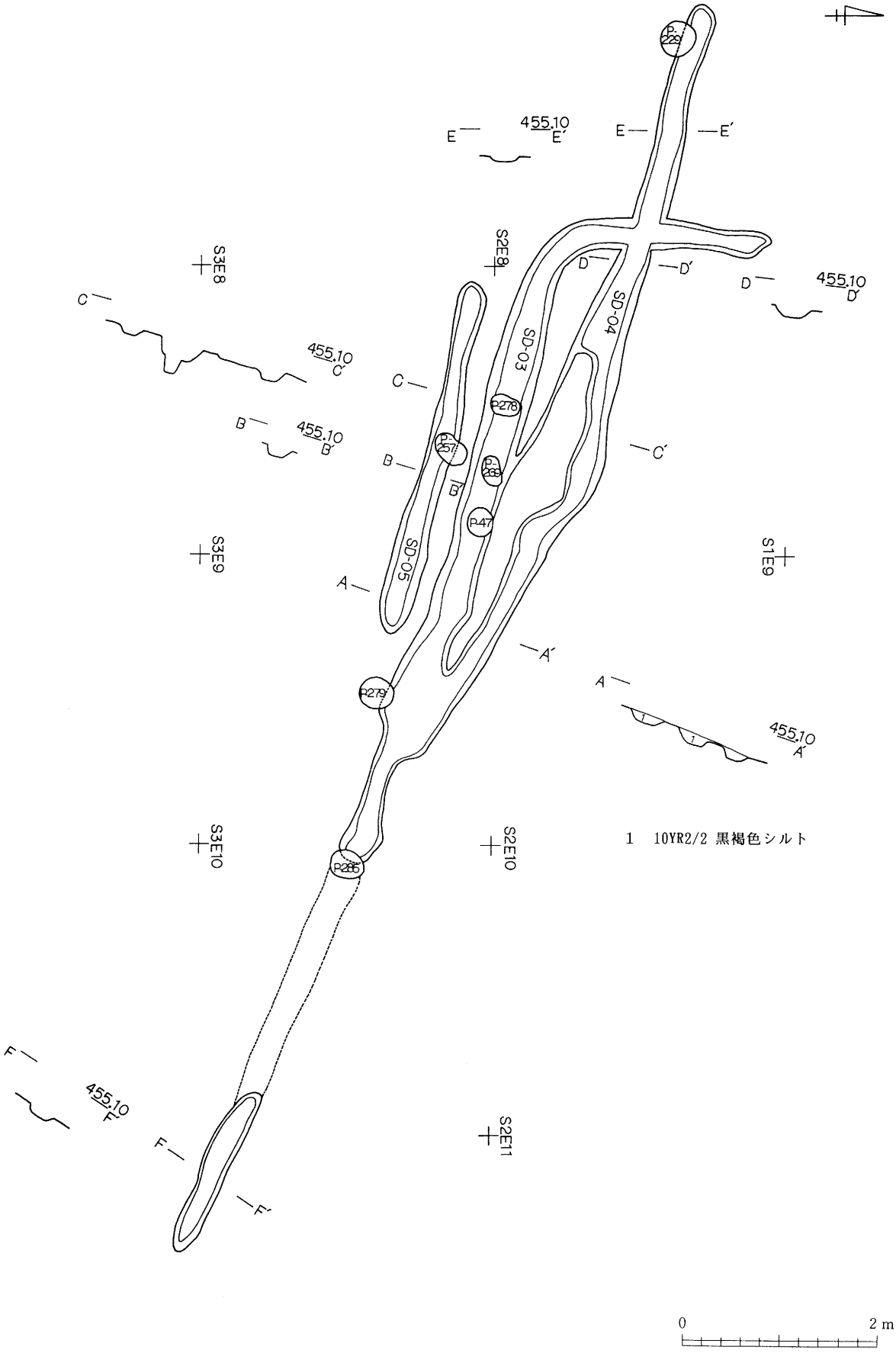


第11図　ＳＫ―０１実測図

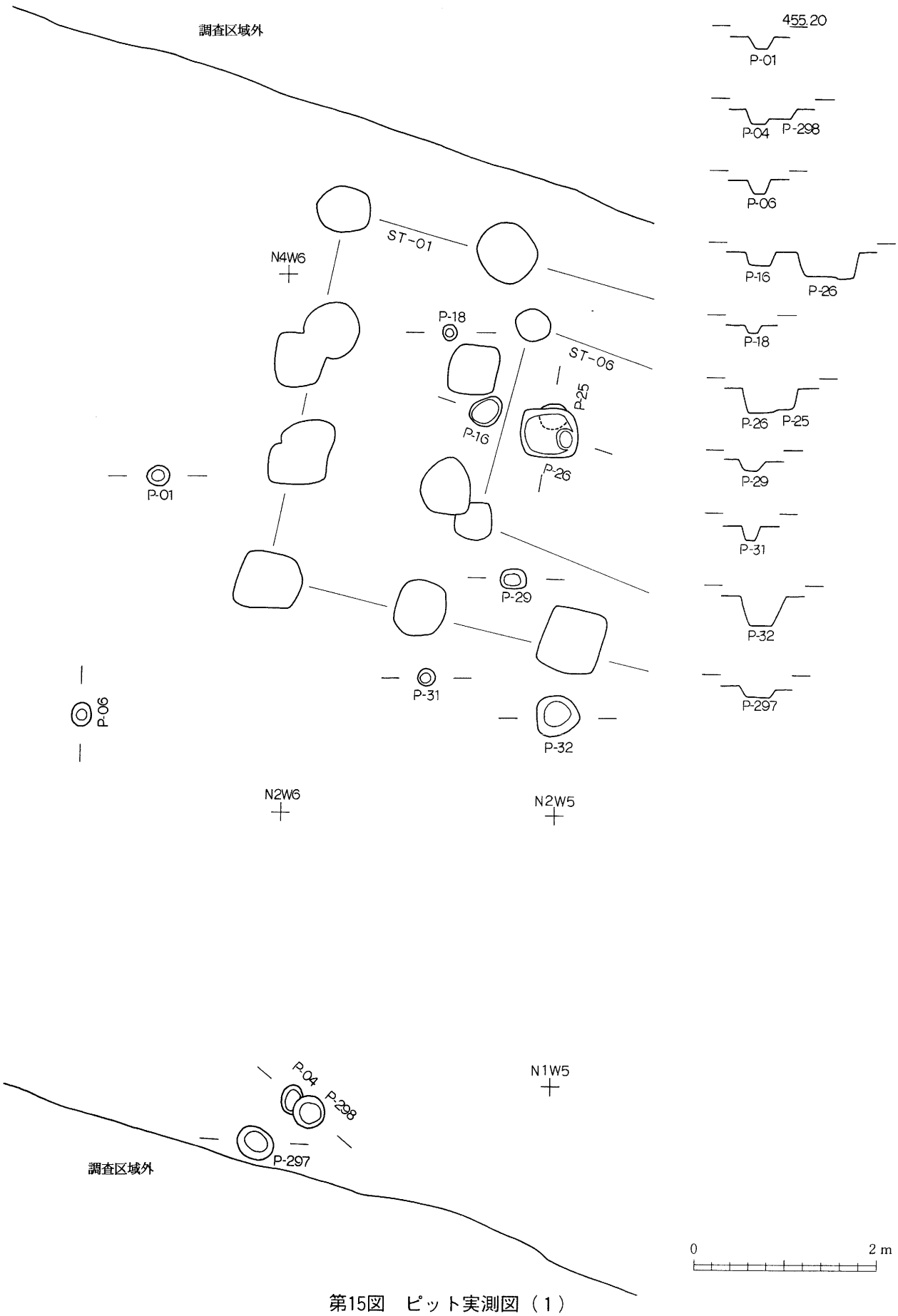


第12図　ＳＤ―０１実測図

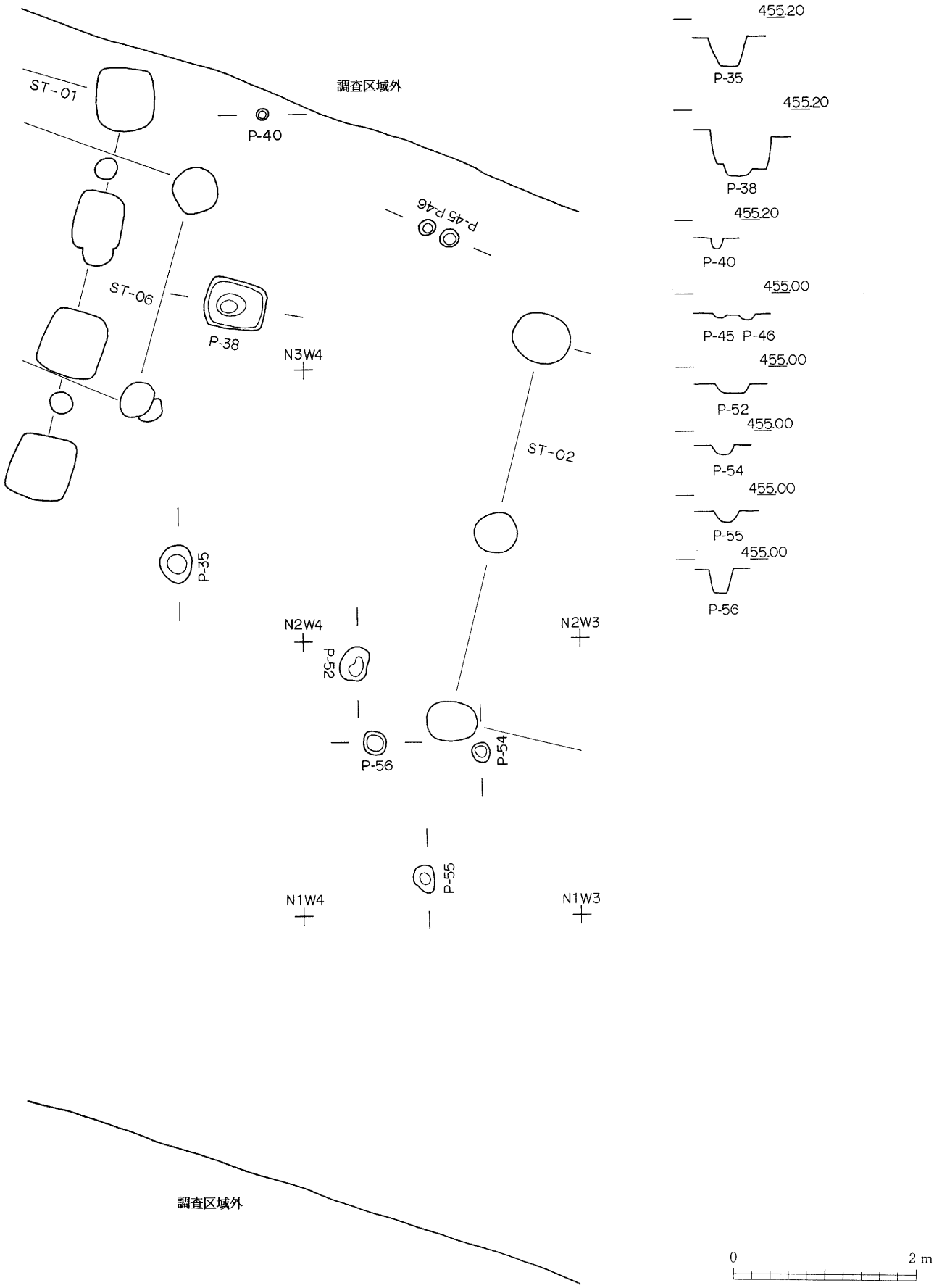
第13図　ＳＤ―０２実測図



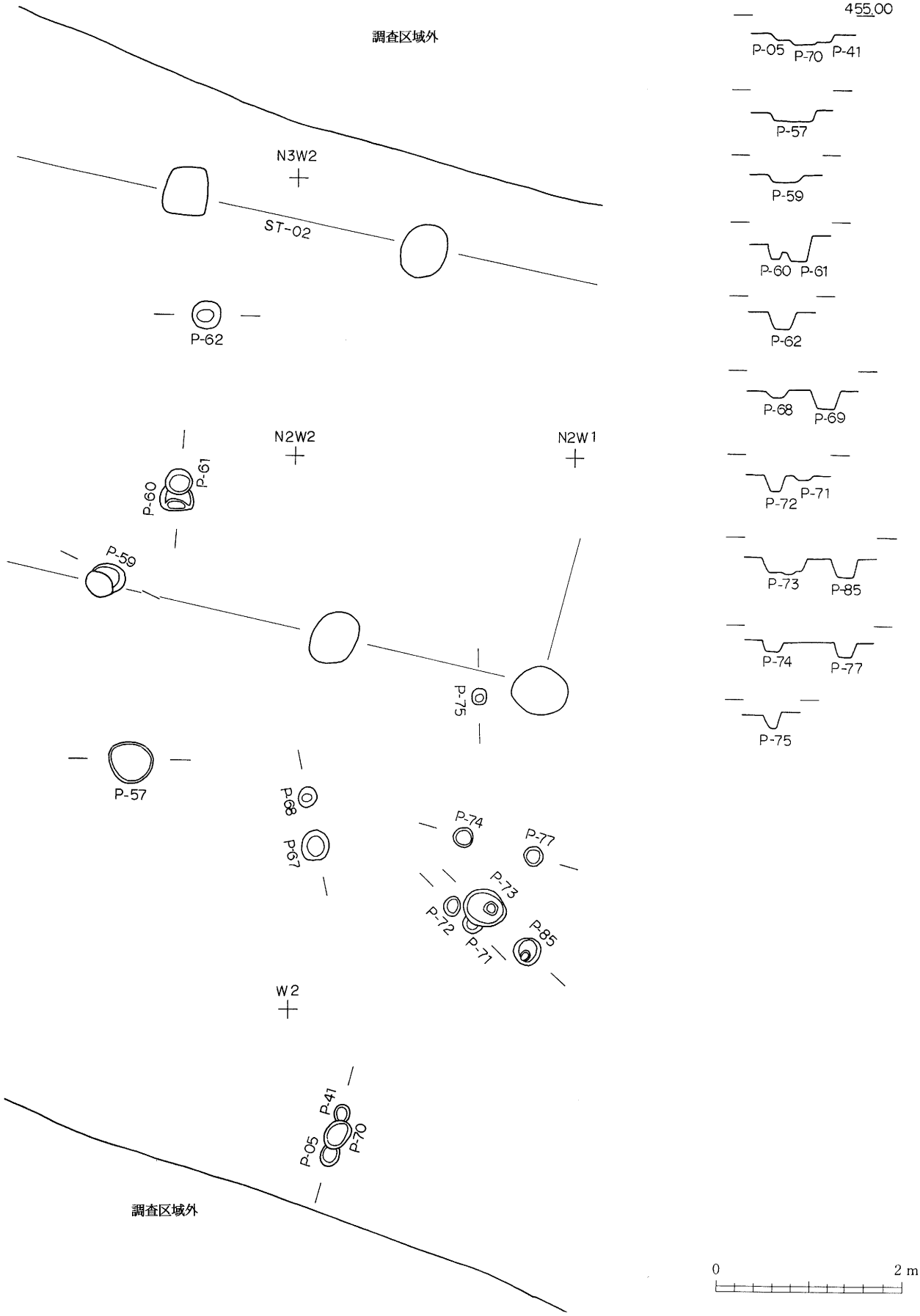
第14図　ＳＤ―０３・０４・０５実測図



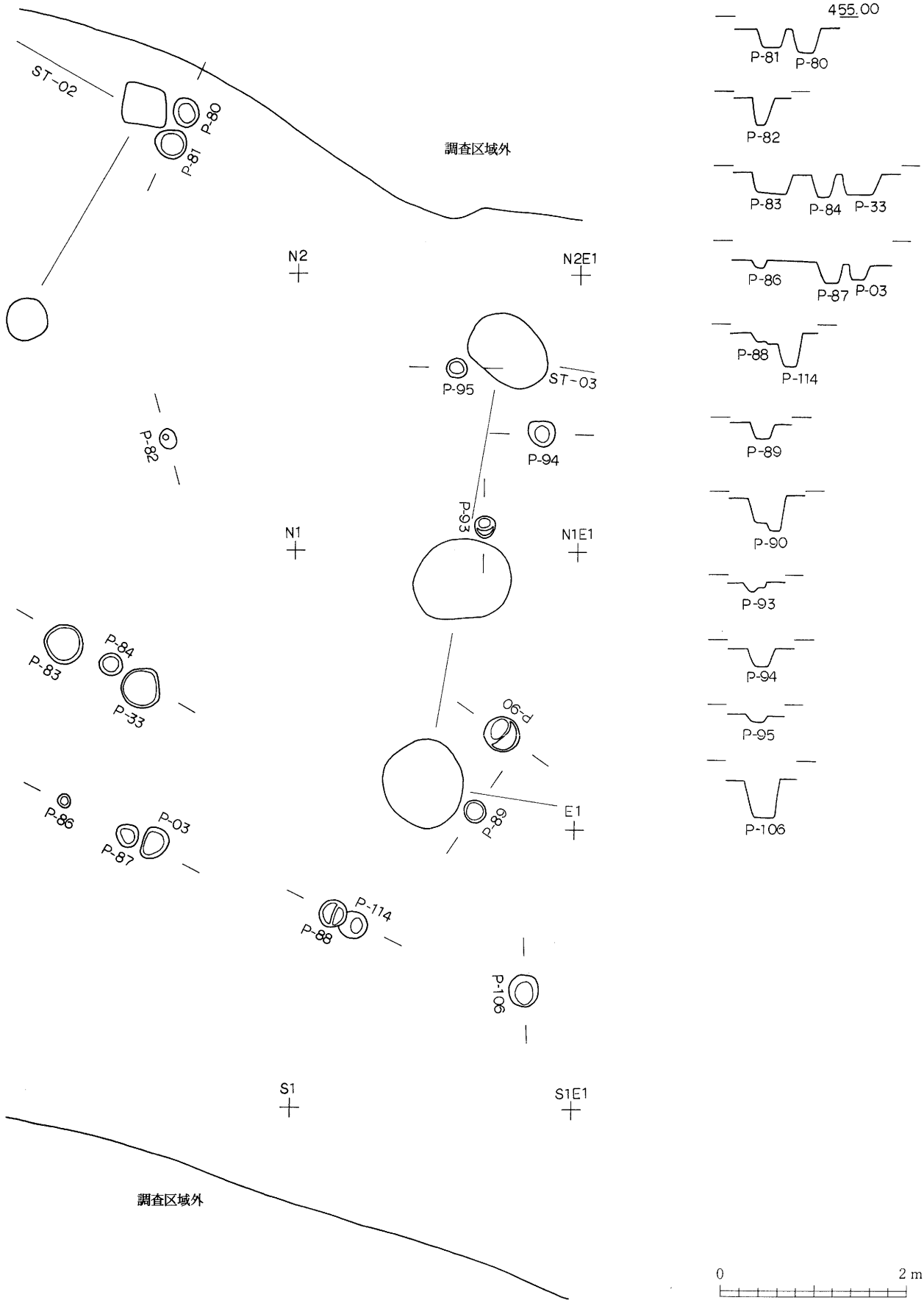
第15図　ピット実測図（1）



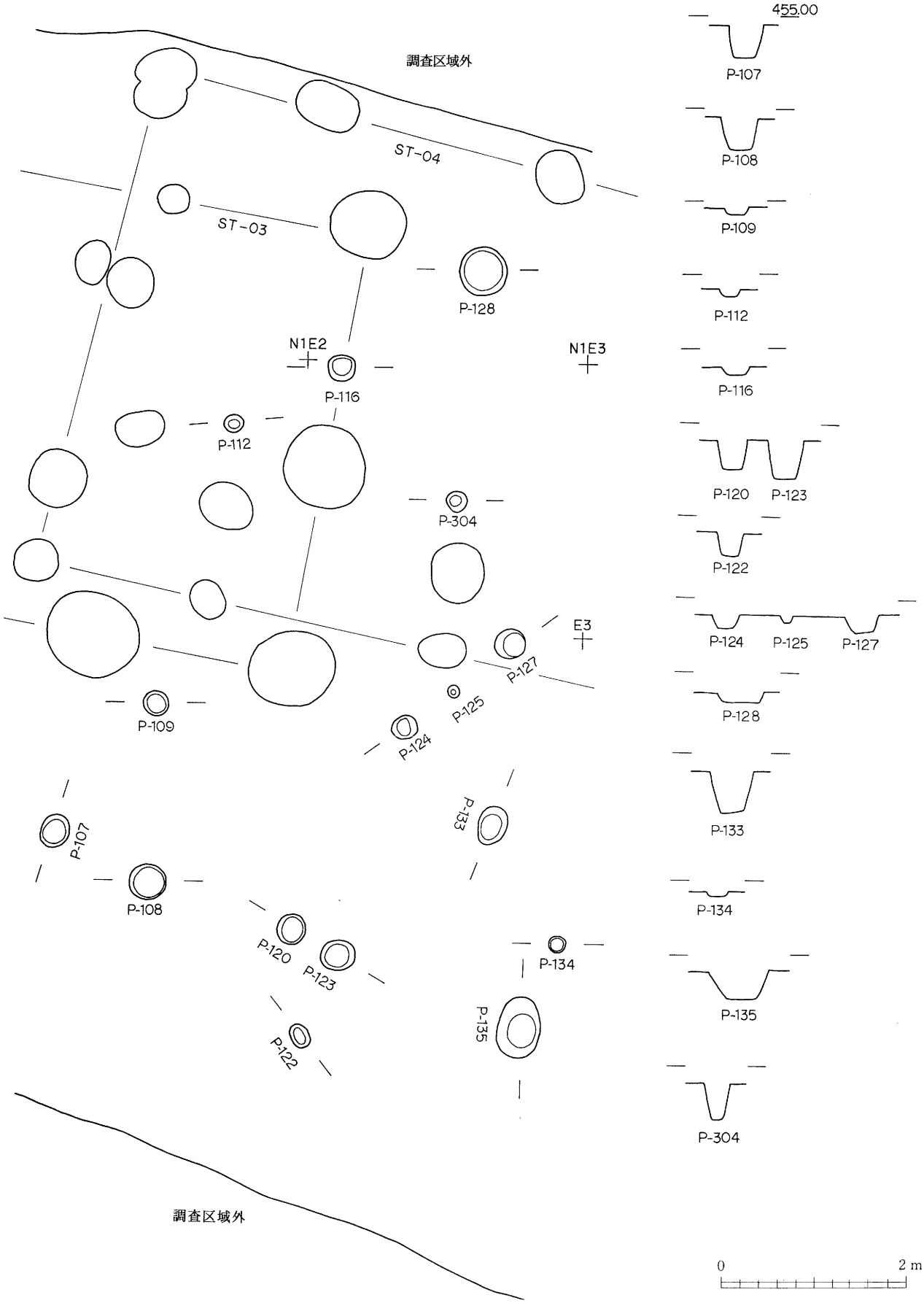
第16図　ピット実測図（2）



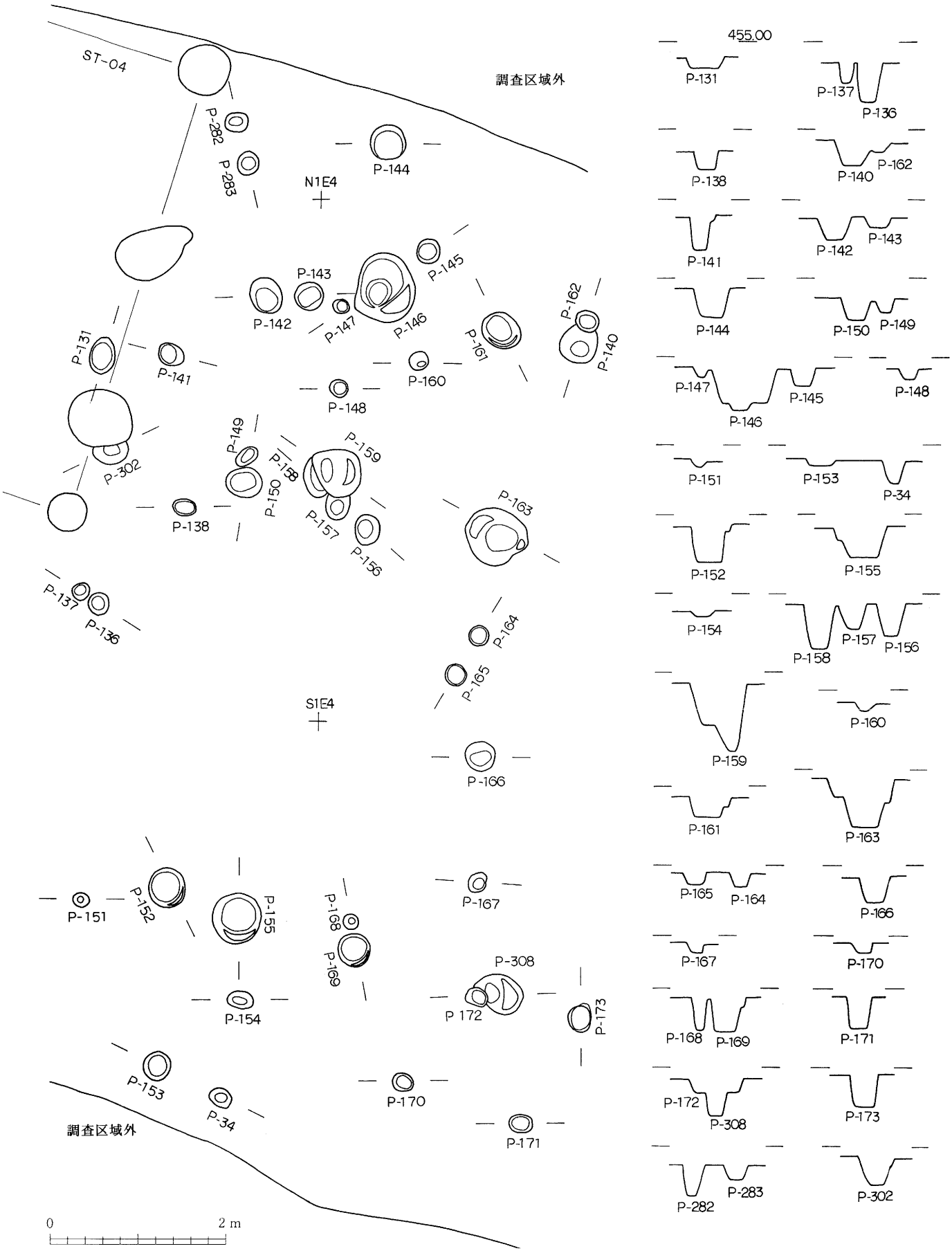
第17図　ピット実測図（3）



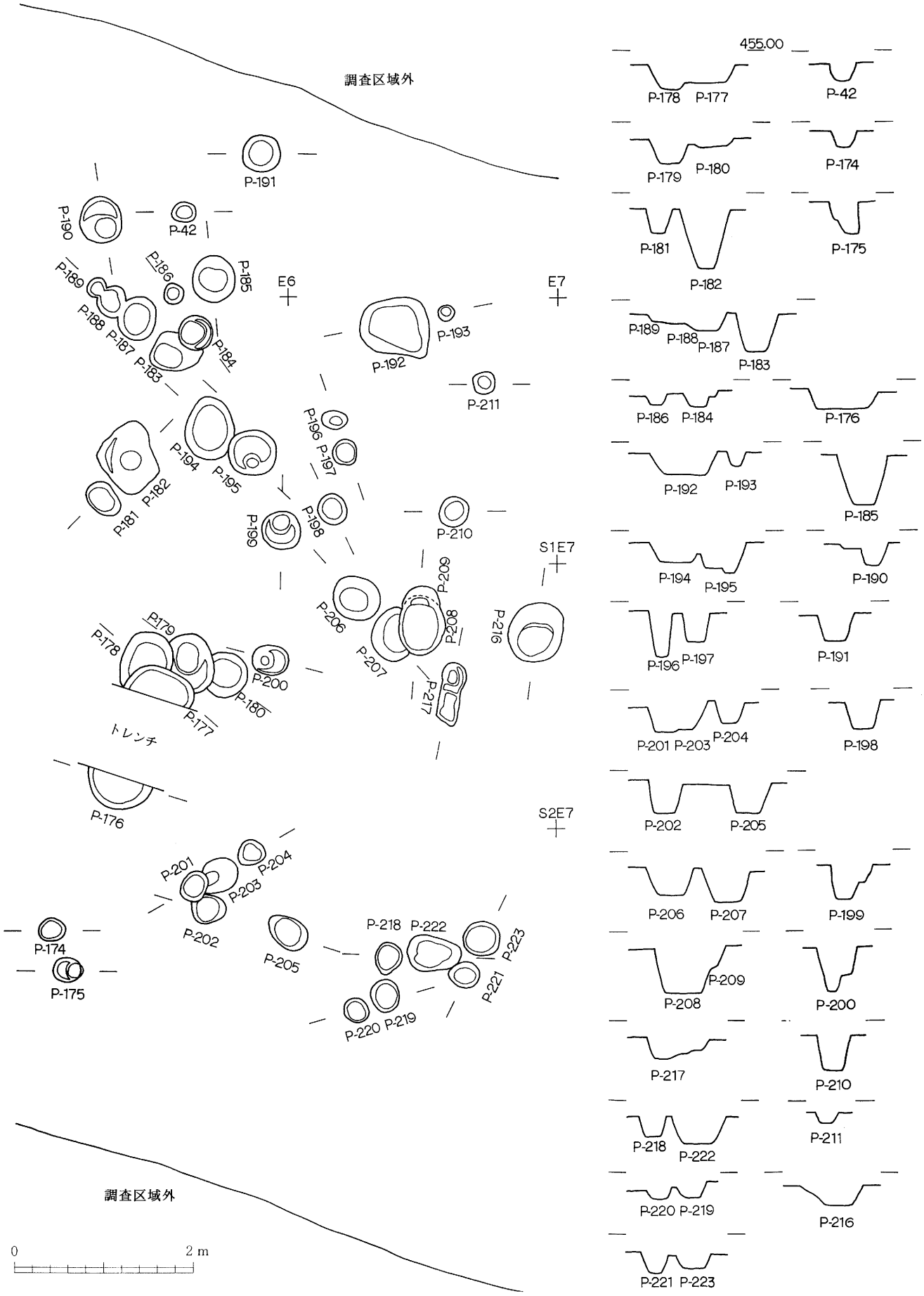
第18図　ピット実測図（4）



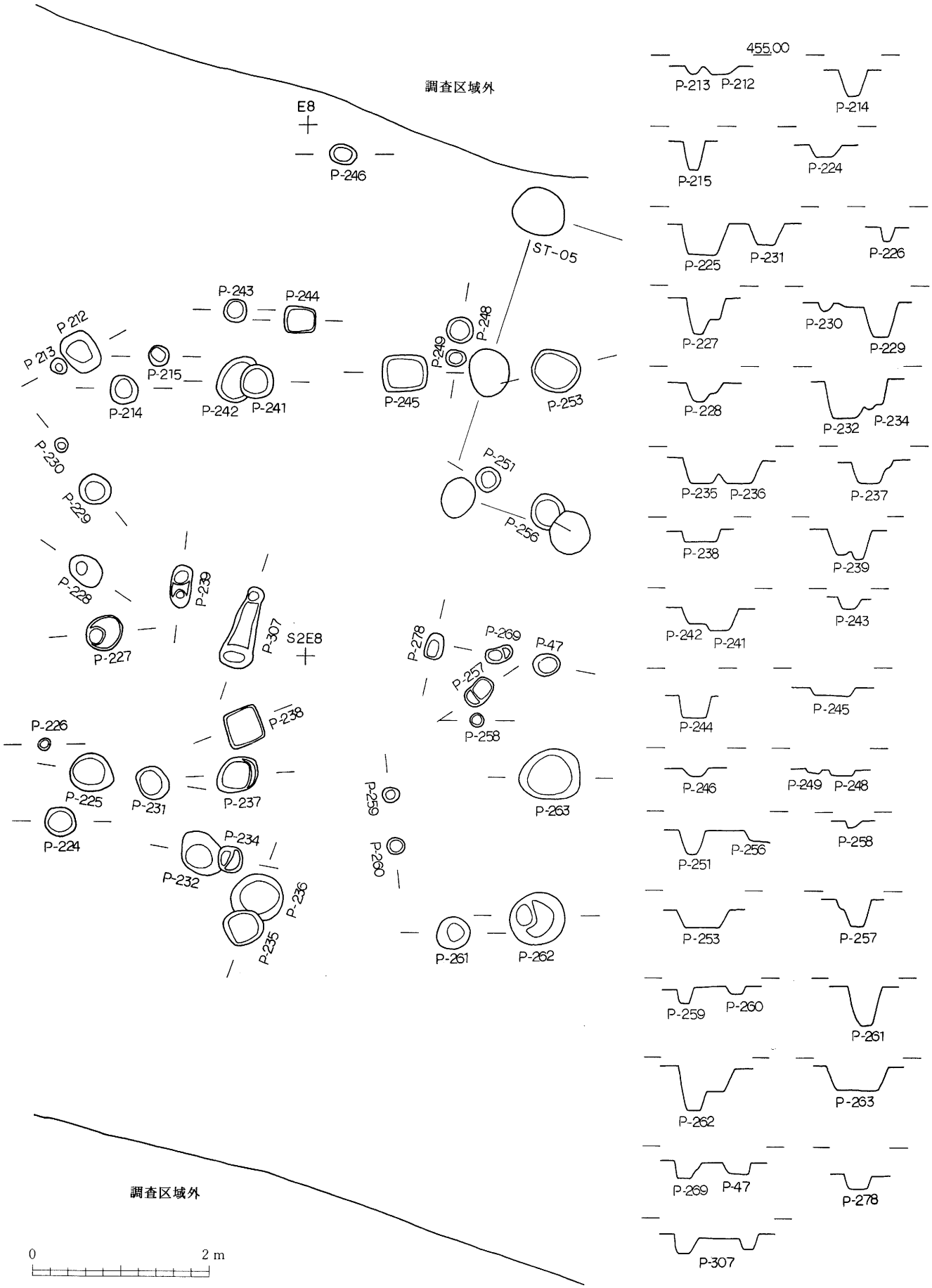
第19図　ピット実測図（5）



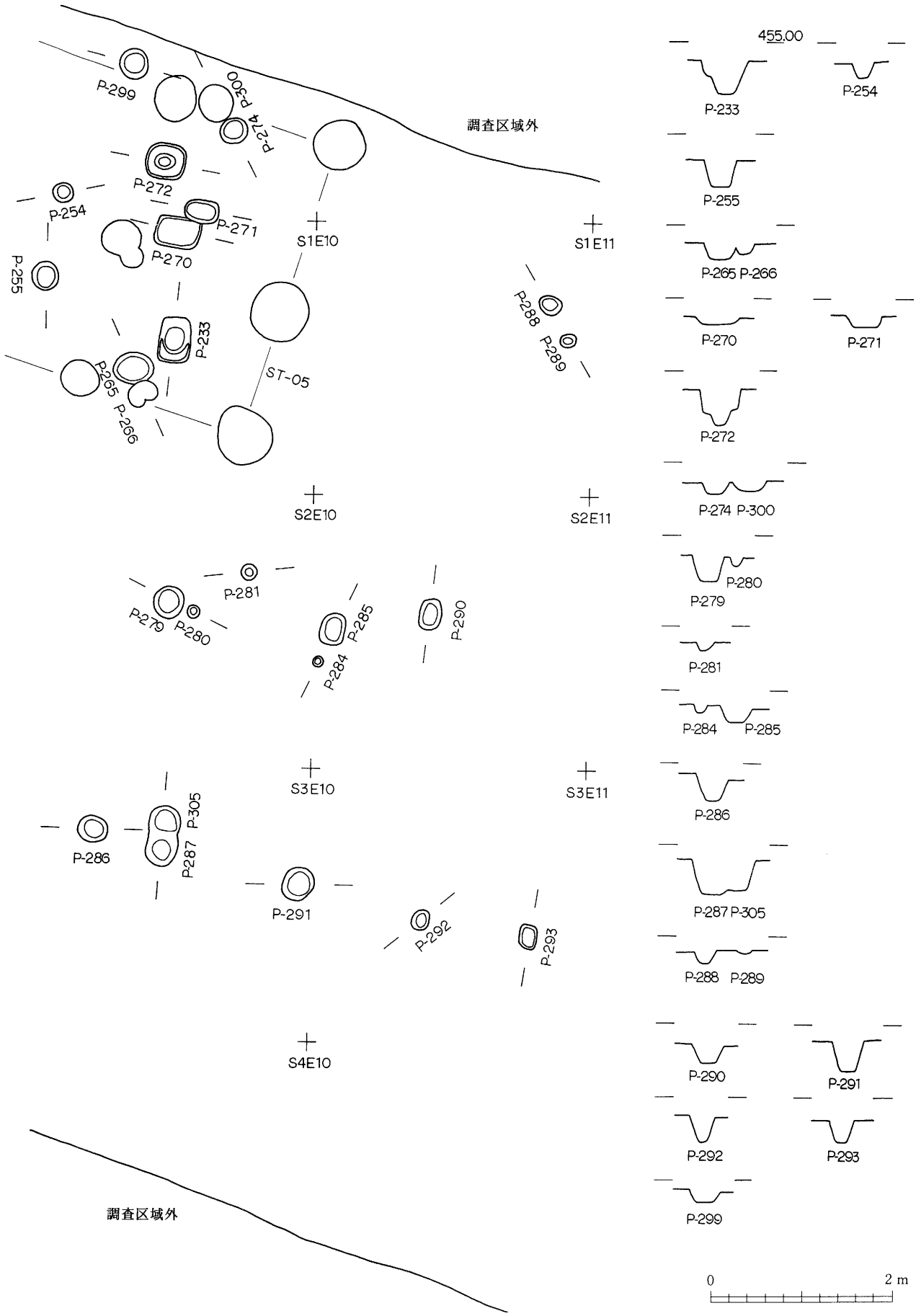
第20図　ピット実測図（6）



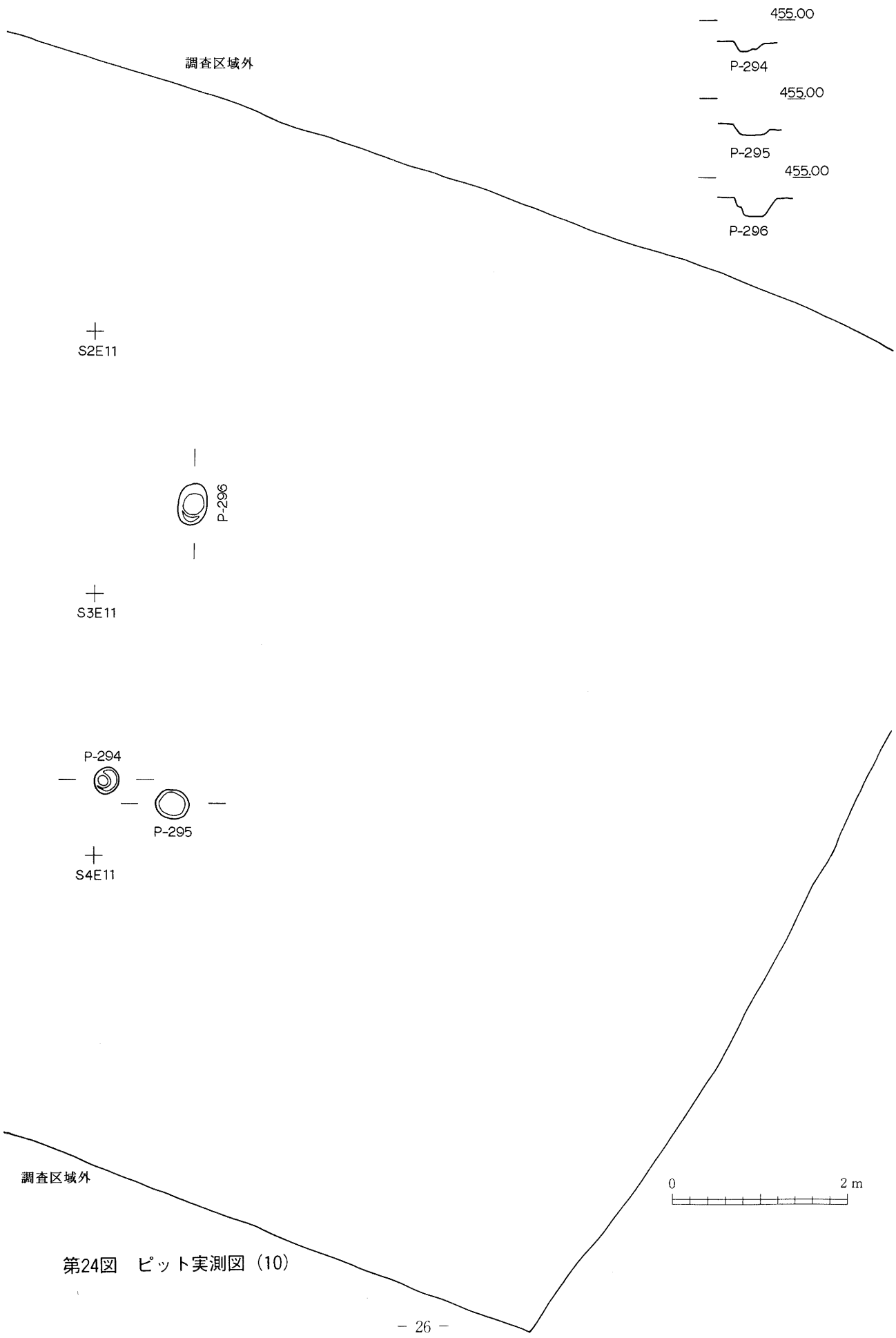
第21図　ピット実測図（7）



第22図　ピット実測図（8）



第23図　ピット実測図（9）



第24図　ピット実測図（10）

遺構番号	ＳＴ－０１	図版	第５図	形態	総柱式(3×2間)	方位	Ｎ－11°－Ｅ
規模	4.20×3.50	位置	N3W5・N3W6・N4W4・N4W5・N4W6・N5W4・N5W5				
柱穴	Ｐ－8(0.60×0.50×0.42) Ｐ－11(0.74×0.66×0.26) Ｐ－15(0.62×0.54×0.22) Ｐ－21(0.68×0.63×0.28) Ｐ－24(0.32×0.32×0.28) Ｐ－30(0.70×0.68×0.40)	Ｐ－9(0.61×0.60×0.39) Ｐ－12(0.70×0.62×0.40) Ｐ－17(0.54×0.51×0.16) Ｐ－22(0.22×0.22×0.18) Ｐ－27(0.72×0.70×0.34)	Ｐ－10(0.60×0.60×0.39) Ｐ－13(0.62×0.54×0.30) Ｐ－20(0.68×0.65×0.42) Ｐ－23(0.63×0.54×0.44) Ｐ－28(0.24×0.22×0.06)				
備考	ＳＴ－０６を切る 桁間　1.40　　梁間　1.75	遺物	Ｐ－10　須恵破片　Ｐ－11　須恵破片　Ｐ－13　須恵破片 Ｐ－20　土師破片　Ｐ－21　須恵破片　Ｐ－23　須恵底部破片 Ｐ－30　須恵・土師破片				

遺構番号	ＳＴ－０２	図版	第６図	形態	側柱式（3×2間）	方位	Ｎ－77°－Ｗ
規模	7.20×4.30	位置	N2・N2W1・N2W2・N2W3・N3・N3W1・N3W2・N3W3・N4W2・N4W3				
柱穴	Ｐ－48(0.63×0.54×0.17) Ｐ－58(0.32×0.29×0.11) Ｐ－67(0.62×0.47×0.24) Ｐ－79(0.47×0.42×0.40)	Ｐ－50(0.46×0.42×0.13) Ｐ－63(0.53×0.48×0.25) Ｐ－76(0.60×0.50×0.36)	Ｐ－53(0.52×0.44×0.21) Ｐ－65(0.60×0.50×0.32) Ｐ－78(0.45×0.43×0.34)				
備考	桁間　2.40　　梁間　2.15	遺物	Ｐ－48　須恵・土師破片　Ｐ－79　須恵・土師破片				

遺構番号	ＳＴ－０３	図版	第７図	形態	総柱式(2×2間)	方位	Ｎ－10°－Ｅ
規模	4.80×4.50	位置	E1・E2・N1E1・N1E2・N1E3・N2E1・N2E2・N2E3				
柱穴	Ｐ－91(0.96×0.86×0.46) Ｐ－99(0.34×0.32×0.12) Ｐ－115(0.82×0.73×0.48)	Ｐ－92(1.04×0.88×0.60) Ｐ－102(0.54×0.37×0.15) Ｐ－118(0.90×0.88×0.62)	Ｐ－96(0.92×0.68×0.52) Ｐ－105(1.00×0.90×0.60) Ｐ－119(0.93×0.80×0.62)				
覆土	1　2.5YR3/1黒褐色(10YR4/6褐色ブロック混)シルト 3　2.5Y4/1黄灰色(10YR5/8黄褐色ブロック混)シルト 5　2.5Y3/2黒褐色(10YR4/6褐色ブロック混)シルト	2　10YR3/1黒褐色(10YR4/6褐色ブロック混)シルト 4　10YR3/1黒褐色(10YR4/6褐色ブロック混)シルト 6　2.5Y3/1黒褐色(10YR6/6明黄褐色ブロック混)シルト					
備考	桁間　2.40　　梁間　2.25	遺物	Ｐ－91　須恵・土師破片　Ｐ－92　須恵破片　Ｐ－96　須恵破片				

遺構番号	ＳＴ－０４	図版	第８図	形態	側柱式(2×3間)	方位	Ｎ－76°－Ｗ
規模	6.25×5.40	位置	E3・E4・N1E2・N1E3・N1E4・N2E2・N2E3・N2E4				
柱穴	Ｐ－97(0.58×0.52×0.14) Ｐ－101(0.53×0.50×0.20) Ｐ－110(0.44×0.36×0.36) Ｐ－126(0.52×0.38×0.30) Ｐ－132(0.45×0.45×0.42) Ｐ－306(0.90×0.56×0.28)	Ｐ－98(0.67×0.50×0.46) Ｐ－103(0.64×0.60×0.60) Ｐ－111(0.60×0.48×0.36) Ｐ－129(0.60×0.50×0.19) Ｐ－301(0.72×0.64×0.46)	Ｐ－100(0.48×0.35×0.25) Ｐ－104(0.50×0.44×0.42) Ｐ－113(0.72×0.46×0.28) Ｐ－130(0.59×0.57×0.50) Ｐ－303(0.65×0.58×0.60)				
備考	庇付か 桁間　2.10　　梁間　2.08	遺物	Ｐ－103　須恵破片　Ｐ－110　須恵破片　Ｐ－111　須恵・土師破片 Ｐ－303　須恵・土師破片　Ｐ－306　須恵破片				

第２表　遺構観察表（１）

遺構番号	ＳＴ－０５	図版	第９図	形態	総柱式(2×2間)	方位	Ｎ－18°－Ｅ
規模	3.80×3.30	位置	Ｅ9・Ｅ10・Ｅ11・Ｓ1Ｅ9・Ｓ1Ｅ10				
柱穴	Ｐ－247(0.60×0.50×0.45) Ｐ－264(0.42×0.40×0.38) Ｐ－273(0.50×0.44×0.20) Ｐ－277(0.60×0.60×0.40)	Ｐ－250(0.56×0.46×0.38) Ｐ－267(0.25×－×0.19) Ｐ－275(0.57×0.56×0.40)	Ｐ－252(0.46×0.36×0.32) Ｐ－268(0.42×0.40×0.42) Ｐ－276(0.64×0.63×0.40)				
備考	桁間　1.90　　梁間　1.15	遺物	Ｐ－247　須恵・土師破片　Ｐ－264　須恵・土師破片 Ｐ－268　土師破片　Ｐ－273　須恵破片 Ｐ－275　須恵・土師破片　Ｐ－276　須恵・土師破片				

遺構番号	ＳＴ－０６	図版	第10図	形態	側柱式（1×1間）	方位	Ｎ－17°－Ｅ
規模	2.35×2.25	位置	Ｎ3Ｅ3・Ｎ3Ｗ4・Ｎ4Ｗ4・Ｎ4Ｗ5				
柱穴	Ｐ－14(0.42×0.41×0.42) Ｐ－37(0.28×0.20×0.30)	Ｐ－19(0.40×0.36×0.35) Ｐ－39(0.50×0.50×0.40)	Ｐ－36(0.40×0.32×0.39)				
備考	ＳＴ－０１に切られる						

遺構番号	ＳＫ－０１	図版	第11図	長径2.60　短径1.76　深さ1.00	遺物	須恵破片
柱穴	1　2.5Y3/1黒褐色(10ＹＲ4/6褐色ブロック混入)　小石混入　シルト 2　2.5Y3/1黒褐色(10ＹＲ4/6褐色ブロック混入)礫をわずかに含むシルト 3　5Y4/1灰褐色(2.5Y4/4オリーブ褐色ブロック混入)シルト 4　5Y5/2灰オリーブ色(2.5Y5/4黄褐色ブロック多量)シルト 5　2.5Y3/2黒褐色(砂礫土)弱粘質　締まりが良くない　シルト 6　10ＹＲ3/1黒褐色(2.5Y4/6オリーブ褐色ブロック混入)　シルト 7　5Y3/1オリーブ黒色(2.5Y4/6オリーブ褐色ブロック混入)　シルト					
備考						

遺構番号	図版番号	長　径	短　径	深　さ	遺　　物	備　　考
Ｐ－０１	第15図	0.26	0.23	0.14	須恵破片	
Ｐ－０３	第18図	0.32	0.26	0.15		
Ｐ－０４	第15図	0.32	(0.24)	0.10		
Ｐ－０５	第17図	(0.24)	0.20	0.06		
Ｐ－０６	第15図	0.26	0.22	0.16		
Ｐ－０８	第５図	0.60	0.50	0.42		ＳＴ－０１
Ｐ－０９	第５図	0.61	0.60	0.39		ＳＴ－０１
Ｐ－１０	第５図	0.60	0.60	0.39	須恵破片	ＳＴ－０１
Ｐ－１１	第５図	0.74	0.66	0.26	須恵破片	ＳＴ－０１

第３表　遺構観察表（２）

遺構番号	図版番号	長　径	短　径	深　さ	遺　　物	備　　考
P－12	第5図	0.70	0.62	0.40		ST－01
P－13	第5図	0.62	0.54	0.30	須恵破片	ST－01
P－14	第10図	0.42	0.41	0.42		ST－06
P－15	第5図	0.62	0.54	0.22		ST－01
P－16	第15図	0.38	0.32	0.16	須恵破片	
P－17	第5図	0.54	0.51	0.16		ST－01
P－18	第15図	0.18	0.16	0.09		
P－19	第10図	0.40	0.36	0.35		ST－06
P－20	第5図	0.68	0.65	0.42	土師破片	ST－01
P－21	第5図	0.68	0.63	0.28	須恵破片	ST－01
P－22	第5図	0.22	0.22	0.18		ST－01
P－23	第5図	0.63	0.54	0.44	須恵破片(25図1)	ST－01
P－24	第5図	0.32	0.32	0.28		ST－01
P－25	第15図	(0.30)	(0.26)	0.26		
P－26	第15図	0.62	0.54	0.32		
P－27	第5図	0.70	0.70	0.34		ST－01
P－28	第5図	0.24	0.22	0.06		ST－01
P－29	第15図	0.28	0.21	0.14		
P－30	第5図	0.70	0.68	0.40	須恵・土師破片	ST－01
P－31	第15図	0.19	0.18	0.18	土師破片	
P－32	第15図	0.50	0.46	0.35		
P－33	第18図	0.43	0.42	0.22	須恵破片	
P－34	第20図	0.27	0.21	0.28		
P－35	第16図	0.42	0.36	0.29		
P－36	第10図	0.40	0.32	0.39		ST－06
P－37	第10図	0.28	—	0.30		ST－06
P－38	第16図	0.64	0.53	0.46	須恵・土師破片	
P－39	第10図	0.50	0.50	0.40		ST－06
P－40	第16図	0.14	0.12	0.12	須恵・土師破片	
P－41	第17図	—	0.12	0.08		
P－42	第21図	0.24	0.22	0.16		
P－45	第16図	0.22	0.18	0.16	須恵破片	
P－46	第16図	0.18	0.18	0.05		

第4表　遺構観察表（3）

遺構番号	図版番号	長　径	短　径	深　さ	遺　　物	備　　考
P－47	第22図	0.30	0.25	0.13		
P－48	第6図	0.63	0.54	0.17	須恵・土師破片	ST－02
P－49	第22図	0.50	0.42	0.34	須恵・土師破片	
P－50	第6図	0.46	0.42	0.13		ST－02
P－52	第16図	0.38	0.30	0.14		
P－53	第6図	0.52	0.44	0.21		ST－02
P－54	第16図	0.24	0.18	0.10		
P－55	第16図	0.33	0.24	0.13		
P－56	第16図	0.24	0.23	0.26		
P－57	第17図	0.50	0.43	0.11		
P－58	第6図	0.32	0.29	0.11		ST－02
P－59	第17図	0.36	—	0.06		
P－60	第17図	0.36	(0.30)	0.18		
P－61	第17図	0.30	0.28	0.30		
P－62	第17図	0.33	0.32	0.18		
P－63	第6図	0.53	0.48	0.25		ST－02
P－65	第6図	0.58	0.50	0.32		ST－02
P－67	第6図	0.62	0.47	0.24		ST－02
P－68	第17図	0.22	0.21	0.06		
P－69	第17図	0.33	0.30	0.18		
P－70	第17図	0.34	0.24	0.10		
P－71	第17図	0.22	—	0.06		
P－72	第17図	0.20	0.18	0.19		
P－73	第17図	0.44	0.40	0.18		
P－74	第17図	0.22	0.21	0.08		
P－75	第17図	0.19	0.16	0.16		
P－76	第6図	0.60	0.50	0.36		ST－02
P－77	第17図	0.21	0.20	0.20	土師破片	
P－78	第6図	0.45	0.43	0.34		ST－02
P－79	第6図	0.47	0.42	0.40	須恵・土師破片	ST－02
P－80	第18図	0.30	0.27	0.26		
P－81	第18図	0.34	0.32	0.20		
P－82	第18図	0.22	0.18	0.30		

第5表　遺構観察表（4）

遺構番号	図版番号	長　径	短　径	深　さ	遺　　物	備　　考
P－83	第18図	0.42	0.42	0.23		
P－84	第18図	0.24	0.22	0.26		
P－85	第17図	0.30	0.30	0.20		
P－86	第18図	0.16	0.15	0.08		
P－87	第18図	0.26	0.24	0.23		
P－88	第18図	0.31	0.33	0.14		
P－89	第18図	0.24	0.24	0.18		
P－90	第18図	0.39	0.38	0.34	須恵破片(25図2)	
P－91	第7図	0.96	0.86	0.46	須恵破片(25図3)・土師破片	ST－03
P－92	第7図	1.04	0.88	0.60	須恵破片	ST－03
P－93	第18図	0.23	0.22	0.09		
P－94	第18図	0.28	0.28	0.11		
P－95	第18図	0.22	0.20	0.10		
P－96	第7図	0.92	0.68	0.52	須恵破片	ST－03
P－97	第8図	0.58	0.52	0.14		ST－04
P－98	第8図	0.67	0.50	0.46		ST－04
P－99	第7図	0.34	0.32	0.12		ST－03
P－100	第8図	0.48	0.35	0.25		ST－04
P－101	第8図	0.53	0.50	0.20		ST－04
P－102	第7図	0.54	0.37	0.15		ST－03
P－103	第8図	0.64	0.60	0.60	須恵破片	ST－04
P－104	第8図	0.50	0.44	0.42		ST－04
P－105	第7図	1.00	0.90	0.60		ST－03
P－106	第18図	0.34	0.31	0.41		
P－107	第19図	0.37	0.30	0.37		
P－108	第19図	0.40	0.38	0.36	土師破片	
P－109	第19図	0.29	0.28	0.10		
P－110	第8図	0.44	0.36	0.36	須恵破片	ST－04
P－111	第8図	0.60	0.48	0.36	須恵・土師破片	ST－04
P－112	第19図	0.20	0.17	0.10		
P－113	第8図	0.72	0.46	0.28		ST－04
P－114	第18図	0.30	(0.30)	0.38		
P－115	第7図	0.82	0.73	0.48		ST－03

第6表　遺構観察表（5）

遺構番号	図版番号	長　径	短　径	深　さ	遺　　物	備　　考
P－116	第19図	0.36	0.29	0.08		
P－118	第7図	0.90	0.88	0.62		ST－03
P－119	第7図	0.93	0.80	0.62		ST－03
P－120	第19図	0.36	0.35	0.30		
P－122	第19図	0.28	0.20	0.26		
P－123	第19図	0.34	0.30	0.43	土師破片	
P－124	第19図	0.28	0.27	0.27		
P－125	第19図	0.14	0.14	0.10		
P－126	第8図	0.52	0.38	0.30		ST－04
P－127	第19図	0.33	0.31	0.20		
P－128	第19図	0.51	0.50	0.10		
P－129	第8図	0.60	0.50	0.19		ST－04
P－130	第8図	0.59	0.57	0.50		ST－04
P－131	第20図	0.42	0.29	0.14		
P－132	第8図	0.45	0.45	0.42		ST－04
P－133	第19図	0.42	0.32	0.46	須恵破片	
P－134	第19図	0.18	0.18	0.05		
P－135	第19図	0.64	0.46	0.34	須恵破片	
P－136	第20図	0.26	0.25	0.46		
P－137	第20図	0.20	0.19	0.24		
P－138	第20図	0.26	0.18	0.25		
P－140	第20図	0.46	0.43	0.30		
P－141	第20図	0.29	0.23	0.43	須恵破片	
P－142	第20図	0.42	0.34	0.23	土師破片	
P－143	第20図	0.32	0.30	0.12	須恵破片	
P－144	第20図	0.40	0.38	0.32	須恵破片	
P－145	第20図	0.26	0.26	0.22	須恵・土師破片	
P－146	第20図	0.78	0.73	0.44		
P－147	第20図	0.18	0.16	0.12		
P－148	第20図	0.20	0.20	0.12		
P－149	第20図	0.29	0.16	0.14		
P－150	第20図	0.40	0.34	0.23	須恵破片	
P－151	第20図	0.18	0.16	0.07		

第7表　遺構観察表（6）

遺構番号	図版番号	長　径	短　径	深　さ	遺　　物	備　　考
P—152	第20図	0.44	0.41	0.43		
P—153	第20図	0.33	0.31	0.06		
P—154	第20図	0.29	0.19	0.06		
P—155	第20図	0.56	0.55	0.36		
P—156	第20図	0.28	0.20	0.39	須恵破片	
P—157	第20図	0.32	—	0.29		
P—158	第20図	0.48	—	0.50		
P—159	第20図	0.62	0.53	0.78	須恵(25図4·5)土師破片	
P—160	第20図	0.20	0.18	0.10		
P—161	第20図	0.46	0.39	0.22		
P—162	第20図	(0.45)	0.42	0.30		
P—163	第20図	0.72	0.63	0.58	須恵・土師破片	
P—164	第20図	0.23	0.22	0.16		
P—165	第20図	0.25	0.24	0.13		
P—166	第20図	0.34	0.34	0.28		
P—167	第20図	0.24	0.20	0.10		
P—168	第20図	0.18	0.17	0.37		
P—169	第20図	0.39	0.36	0.40	須恵破片	
P—170	第20図	0.25	0.21	0.14		
P—171	第20図	0.26	0.21	0.36		
P—172	第20図	0.24	0.22	0.15		
P—173	第20図	0.29	0.28	0.37		
P—174	第21図	0.28	0.27	0.19		
P—175	第21図	0.30	0.28	0.38		
P—176	第21図	0.72	—	0.25		
P—177	第21図	0.75	—	0.19		
P—178	第21図	—	0.56	0.27		
P—179	第21図	0.66	—	0.33		
P—180	第21図	(0.50)	0.50	0.11		
P—181	第21図	0.42	0.30	0.28		
P—182	第21図	0.72	0.60	0.66	須恵・土師破片	
P—183	第21図	0.58	0.45	0.45		
P—184	第21図	0.38	0.37	0.16		

第8表　遺構観察表（7）

遺構番号	図版番号	長　径	短　径	深　さ	遺　　物	備　　考
P—185	第21図	0.52	0.48	0.58		
P—186	第21図	0.24	0.24	0.13		
P—187	第21図	0.50	0.42	0.17		
P—188	第21図	0.36	—	0.06		
P—189	第21図	0.22	—	0.05		
P—190	第21図	0.52	0.44	0.26		
P—191	第21図	0.42	0.40	0.32	須恵破片	
P—192	第21図	0.84	0.74	0.27		
P—193	第21図	0.19	0.18	0.14		
P—194	第21図	0.72	0.52	0.23		
P—195	第21図	0.54	0.49	0.34		
P—196	第21図	0.29	0.20	0.54		
P—197	第21図	0.30	0.28	0.32		
P—198	第21図	0.35	0.32	0.33		
P—199	第21図	0.43	0.41	0.40		
P—200	第21図	0.40	0.34	0.50		
P—201	第21図	0.33	0.28	0.33	須恵破片	
P—202	第21図	0.40	0.32	0.40	須恵破片(25図6)	
P—203	第21図	(0.42)	0.38	0.34		
P—204	第21図	0.32	0.28	0.25		
P—205	第21図	0.48	0.33	0.32		
P—206	第21図	0.54	0.48	0.32		
P—207	第21図	0.60	0.46	0.40		
P—208	第21図	0.66	0.52	0.50	須恵(25図7)・土師破片	
P—209	第21図	0.42	—	0.26		
P—210	第21図	0.33	0.33	0.42		
P—211	第21図	0.25	0.24	0.15		
P—212	第22図	0.46	0.37	0.10	須恵破片	
P—213	第22図	0.18	0.18	0.08		
P—214	第22図	0.32	0.31	0.31		
P—215	第22図	0.24	0.23	0.34		
P—216	第21図	0.67	0.58	0.23		
P—217	第21図	0.72	0.22	0.26	須恵破片	

第9表　遺構観察表（8）

遺構番号	図版番号	長　径	短　径	深　さ	遺　　物	備　　考
P－２１８	第21図	0.36	0.30	0.23		
P－２１９	第21図	0.37	0.33	0.15		
P－２２０	第21図	0.28	0.28	0.12		
P－２２１	第21図	0.34	0.30	0.24		
P－２２２	第21図	0.61	0.36	0.33	土師破片	
P－２２３	第21図	0.40	0.39	0.16		
P－２２４	第22図	0.36	0.32	0.16		
P－２２５	第22図	0.50	0.42	0.37		
P－２２６	第22図	0.15	0.13	0.19		
P－２２７	第22図	0.43	0.38	0.41		
P－２２８	第22図	0.41	0.30	0.24		
P－２２９	第22図	0.36	0.35	0.40		
P－２３０	第22図	0.16	0.15	0.11		
P－２３１	第22図	0.36	0.36	0.25		
P－２３２	第22図	0.55	0.22	0.45		
P－２３３	第23図	0.52	0.35	0.38		
P－２３４	第22図	0.30	0.30	0.34		
P－２３５	第22図	0.46	0.42	0.29		
P－２３６	第22図	0.59	0.53	0.28	須恵破片	
P－２３７	第22図	0.52	0.39	0.26	土師破片	
P－２３８	第22図	0.42	0.40	0.14		
P－２３９	第22図	0.50	0.24	0.36	須恵・土師破片	
P－２４１	第22図	0.38	0.36	0.24	土師破片	
P－２４２	第22図	0.54	0.40	0.20		
P－２４３	第22図	0.26	0.25	0.14		
P－２４４	第22図	0.36	0.30	0.24		
P－２４５	第22図	0.50	0.40	0.10		
P－２４６	第22図	0.30	0.24	0.08		
P－２４７	第９図	0.60	0.50	0.45	須恵・土師破片	ＳＴ－０５
P－２４８	第22図	0.32	0.30	0.10		
P－２４９	第22図	0.23	0.19	0.06	須恵破片(25図8)	
P－２５０	第９図	0.56	0.46	0.38		ＳＴ－０５
P－２５１	第22図	0.29	0.28	0.27		

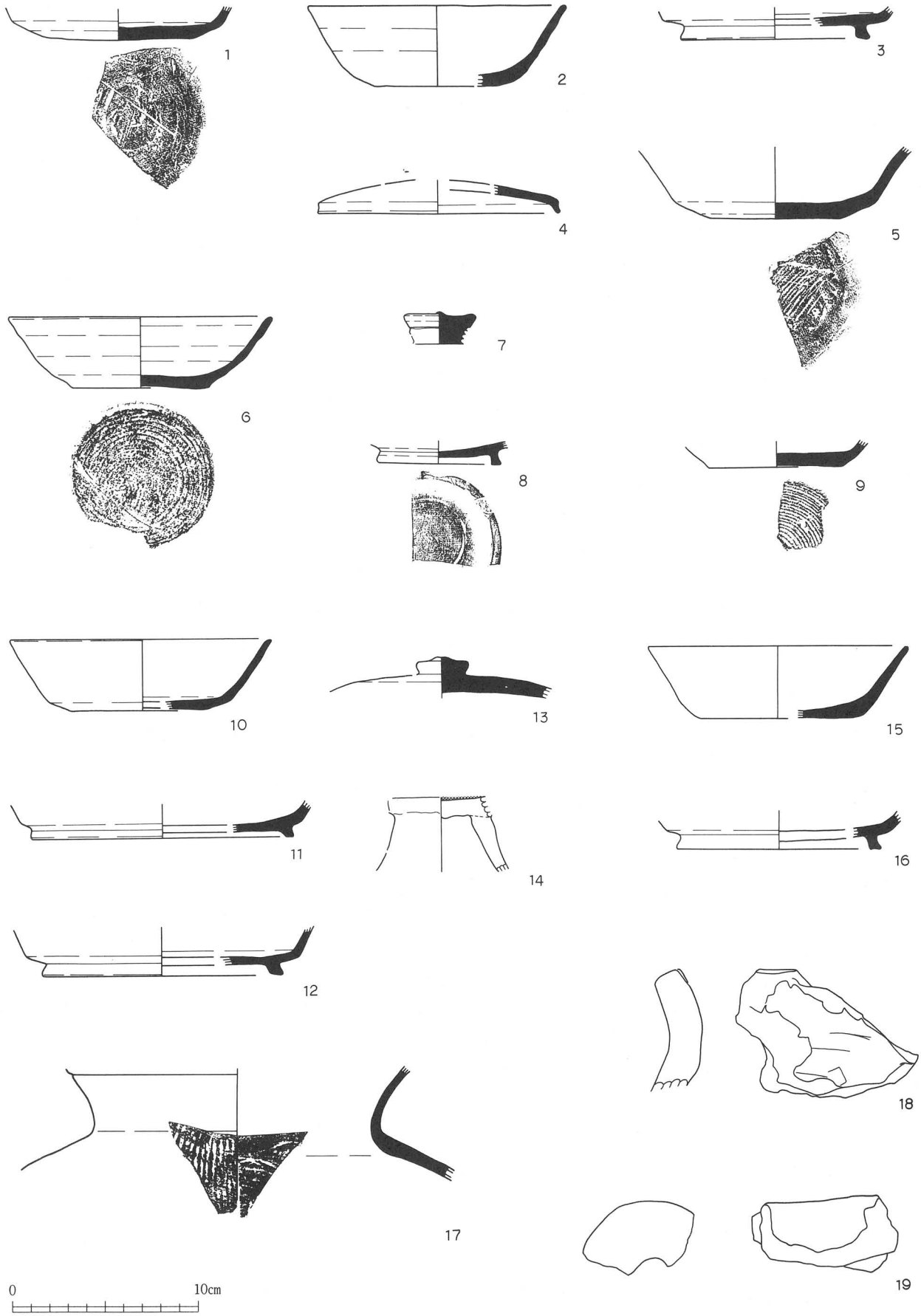
第10表　遺構観察表（９）

遺構番号	図版番号	長　径	短　径	深　さ	遺　　物	備　　考
P－252	第9図	0.46	0.36	0.32		
P－253	第22図	0.54	0.48	0.21	須恵破片	
P－254	第23図	0.22	0.22	0.18		
P－255	第23図	0.33	0.30	0.30	須恵破片	
P－256	第22図	0.38	—	0.13		
P－257	第22図	0.38	0.23	0.31	須恵(25図9)・土師破片	
P－258	第22図	0.16	0.15	0.09		
P－259	第22図	0.20	0.16	0.18		
P－260	第22図	0.22	0.18	0.10		
P－261	第22図	0.39	0.37	0.45	須恵破片	
P－262	第22図	0.63	0.59	0.48	土師破片	
P－263	第22図	0.69	0.56	0.26	須恵破片	
P－264	第9図	0.42	0.40	0.38	須恵・土師破片	ST－05
P－265	第23図	0.43	0.35	0.20		
P－266	第23図	0.32	0.23	0.11		
P－267	第9図	0.25	—	0.19		ST－05
P－268	第9図	0.42	0.40	0.42	土師破片	ST－05
P－269	第22図	0.32	0.19	0.21		
P－270	第23図	0.50	0.33	0.09	須恵・土師破片	
P－271	第23図	0.38	0.26	0.13		
P－272	第23図	0.44	0.40	0.42		
P－273	第9図	0.50	0.44	0.20	須恵破片	ST－05
P－274	第23図	0.31	0.29	0.15		
P－275	第9図	0.57	0.56	0.40	須恵・土師破片	ST－05
P－276	第9図	0.64	0.63	0.40	須恵(25図10)・土師破片	ST－05
P－277	第9図	0.60	0.60	0.40		ST－05
P－278	第22図	0.30	0.24	0.20		
P－279	第23図	0.35	0.32	0.28		
P－280	第23図	0.14	0.14	0.10	須恵破片	
P－281	第23図	0.18	0.17	0.11	須恵破片	
P－282	第20図	0.26	0.22	0.38		
P－283	第20図	0.25	0.25	0.18		
P－284	第23図	0.13	0.12	0.11		

第11表　遺構観察表（10）

遺構番号	図版番号	長　径	短　径	深　さ	遺　　物	備　　考
P—284	第23図	0.13	0.12	0.11		
P—285	第23図	0.36	0.27	0.19		
P—286	第23図	0.33	0.29	0.29		
P—287	第23図	0.35	—	0.38	須恵・土師破片	
P—288	第23図	0.25	0.22	0.13		
P—289	第23図	0.19	0.15	0.04	土師破片	
P—290	第23図	0.35	0.24	0.21	土師破片	
P—291	第23図	0.39	0.33	0.34		
P—292	第23図	0.24	0.20	0.28	須恵破片	
P—293	第23図	0.27	0.20	0.25		
P—294	第24図	0.32	0.30	0.13		
P—295	第24図	0.40	0.34	0.12		
P—296	第24図	0.48	0.34	0.21		
P—297	第15図	0.42	0.36	0.12		
P—298	第15図	0.34	0.34	0.14		
P—299	第23図	0.32	0.31	0.14		
P—300	第23図	0.40	0.38	0.10	須恵破片	
P—301	第8図	0.72	0.64	0.46		ST—04
P—302	第20図	0.20	—	0.30		
P—303	第8図	0.65	0.58	0.60	須恵・土師破片	ST—04
P—304	第19図	0.24	0.23	0.39		
P—305	第23図	0.35	—	0.35		
P—306	第8図	0.90	0.56	0.28	須恵破片	ST—04
P—307	第22図	0.94	0.25	0.24		
P—308	第20図	0.55	0.45	0.41		

第12表　遺構観察表（11）



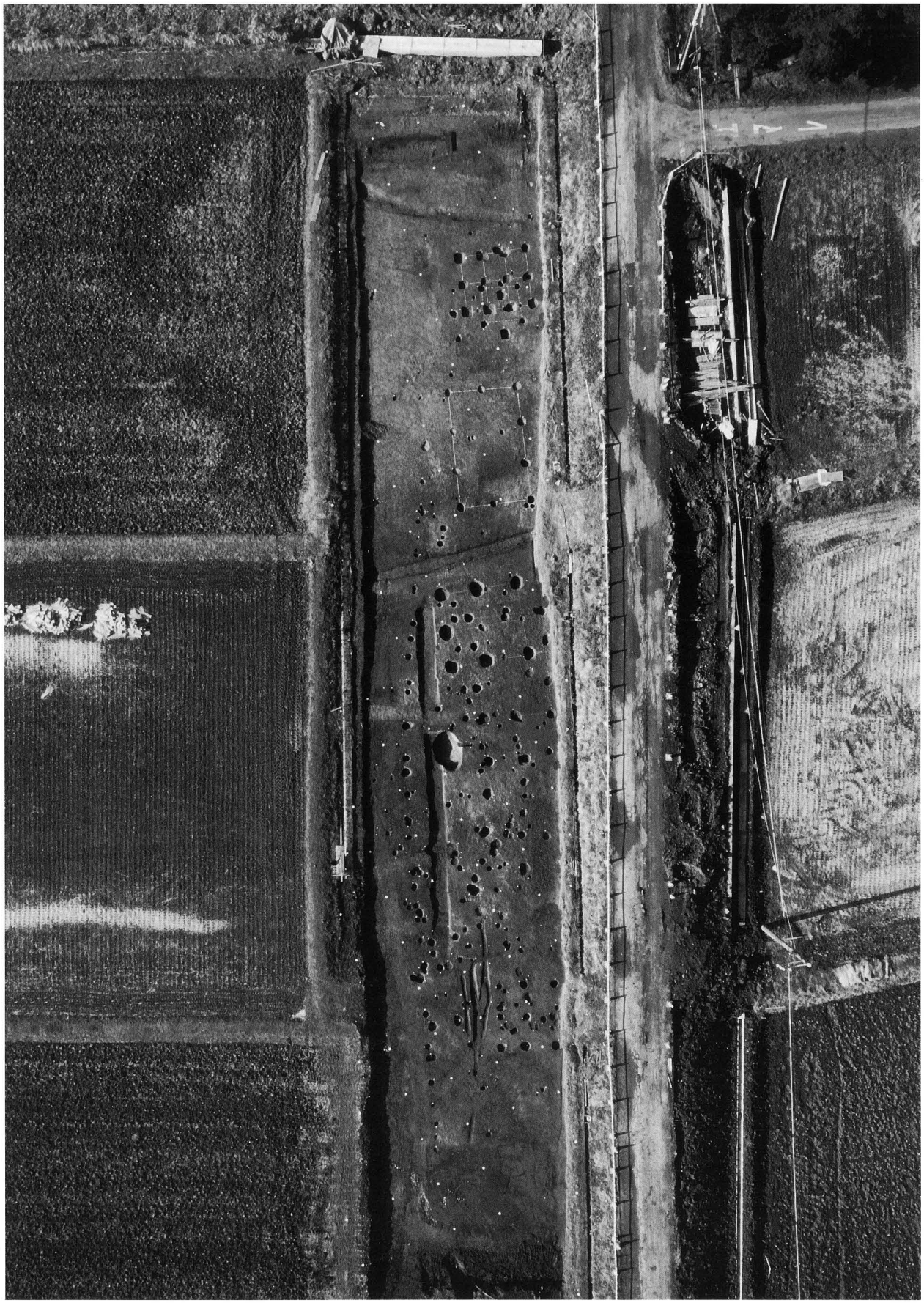
第 25 図　出土遺物実測図

遺構No 図版No	器種 種類	法　量	器　質	成　形 形　態	整　形　ほ　か
P－23 25図1	坏 須恵	口径 器残高 1.8 底径　8.0 底部1/3	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5GY6/1オリーブ灰 (内)5GY6/1オリーブ灰	轆轤成形	(外)轆轤による撫で 底部回転篦切りの後、篦撫で (内) 轆轤右回転
P－90 25図2	坏 須恵	口径　17.0 器高　4.3 底径　10.0 口縁と体部の一部	胎；粗砂粒を含む 焼；不良 色；(外)2.5Y7/2灰黄～ 2.5Y7/1灰白 (内)2.5YR7/2灰黄～ 2.5YR7/1灰白		(外)轆轤による撫で 底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
P－91 25図3	坏 須恵	口径 器残高 1.7 底径　10.0 底部の一部	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10BG4/1暗青灰～ 5BG6/1青灰 (内)10BG5/1青灰～ 5BG6/1青灰	付高台	(外)轆轤による撫で 火襷あり (内)轆轤による撫で
P－159 25図4	蓋 須恵	裾径　12.8 器残高 1.5 底径 裾部の一部	胎；礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)N5/灰 (内)N5/灰		(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
P－159 25図5	坏 須恵	口径 器残高 3.8 底径　7.0 底部1/4 体部の一部	胎；礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/3にぶい褐 (内)7.5YR7/4にぶい橙	底部から外反しながら立上がりゆるい稜を作って体部に立ち上がる	(外)轆轤による撫で 底部櫛歯状工具による削り (内)轆轤による撫で 不完全な還元焔焼成
P－202 25図6	坏 須恵	口径　14.0 器高　3.8 底径　7.4 口縁～体部1/2 底部一部欠	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5Y6/1灰～ 7.5YR6/4にぶい橙 (内)7.5Y6/1灰	上げ底ぎみの平底より立上がり口縁部に至る	(外)轆轤による撫で 削り　底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
P－208 25図7	蓋 須恵	裾径 器残高 1.7 底径 抓部のみ	胎；礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10BG5/1青灰 (内)10BG5/1青灰	扁平な擬宝珠状を呈する	(外)横位の撫で (内)
P－249 25図8	坏 須恵	口径 器残高 1.2 底径　6.6 底部1/3	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10BG5/1青灰 (内)5B6/1青灰	付高台	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による篦状工具の撫で
P－257 25図9	坏 須恵	口径 器残高 1.9 底部　7.2 底部1/6	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10Y7/1灰白 (内)10Y7/1灰白		(外)轆轤による撫で 底部回転糸切り (内)轆轤による撫で

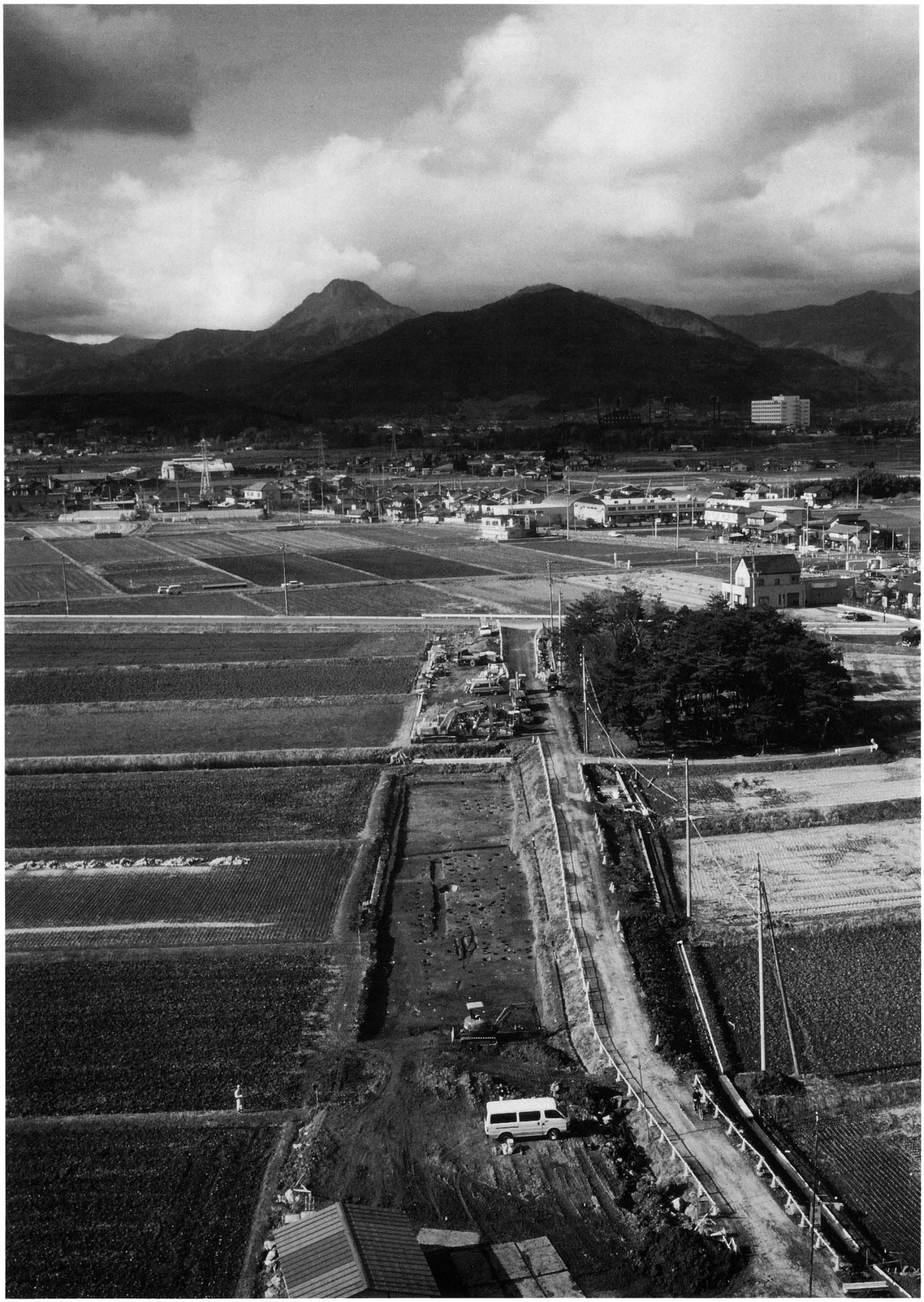
第13表　出土遺物観察表（1）

遺構No 図版No	器種 種類	法　量	器　質	成　形 形　態	整　形　ほ　か
P－276 25図10	坏 須恵	口径　14.2 器残高 3.8 底径 口縁と体部の一部	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10BG5/1青灰 10BG4/1暗青灰 7.5YR4/3褐 (内)外に同じ		(外)轆轤による撫で 底部篦削り　火襷あり (内)轆轤による撫で 火襷あり
SD－01 25図11	坏 須恵	口径 器残高 2.1 底径　14.0 底部一部	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR3/1　黒褐 (内)7.5YR5/1　褐灰	付高台	(外)轆轤による撫で 底部篦状工具による削り (内)轆轤による撫で
SD－04 25図12	坏 須恵	口径 器残高 2.6 底径　12.8 底部一部	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)N5/灰 (内)N5/灰	高台付の底部より体部は屈曲する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
遺構外 25図13	蓋 須恵	裾径 器残高 2.2 底径 抓部ほぼ完存 天井部一部	胎；礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)N6/1灰 (内)N6/1灰		(外)轆轤による篦削り (内)轆轤による撫で
遺構外 25図14	高坏 土師	口径 器残高 4.0 底径 接合部一部	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙 (坏内)黒色処理 (脚内)7.5YR7/3にぶい橙		(外)脚部篦状工具による横位の削り (内)脚部篦状工具による横位の削り
遺構外 25図15	坏 須恵	口径　13.8 器残高 3.8 底径　8.0 口縁～底部 1/8	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)N4/灰～N6/灰 (内)N5/灰	轆轤成形	(外)轆轤による撫で 底部篦状工具による撫で (内)轆轤による撫で
遺構外 25図16	坏 須恵	口径 器残高 2.0 底径　10.9 底部一部	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5B5/1青灰 (内)5B6/1青灰	付高台	(外)轆轤による篦状工具による撫で (内)轆轤による撫で
遺構外 25図17	甕 須恵	頸径　15.3 器残高 6.5 底径　10.0 頸部一部	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)N5/灰 (内)N5/灰		(外)頸部轆轤による撫で　胴部叩き (内)頸部轆轤による撫で　胴部青海波文の叩き
遺構外 25図18	瓦		胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙 (内)7.5YR7/3にぶい橙	わずかに削り痕を残す	(外) (内)
遺構外 25図19	羽口 土師	残高　7.5	胎；礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/3にぶい橙 (内)5YR6/6橙		(外) (内)

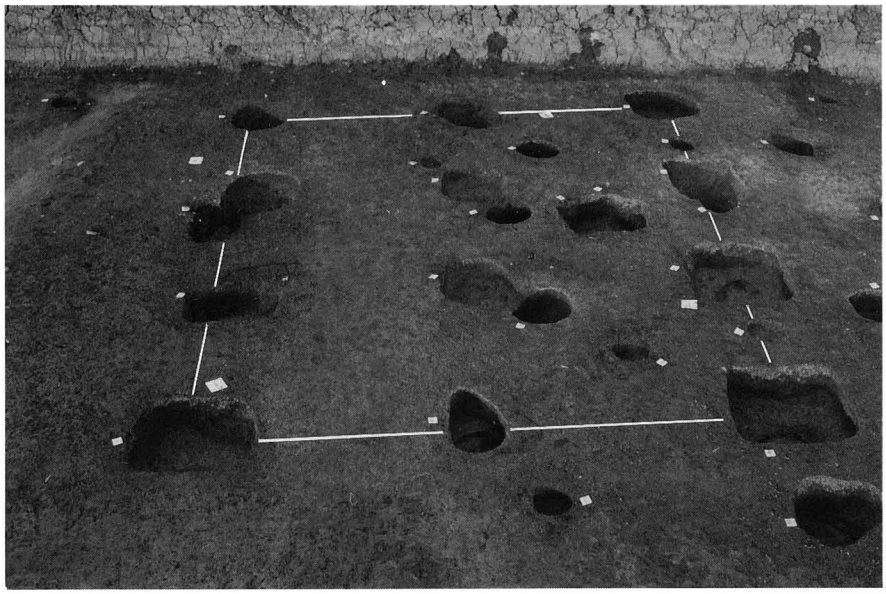
第14表　出土遺物観察表（2）



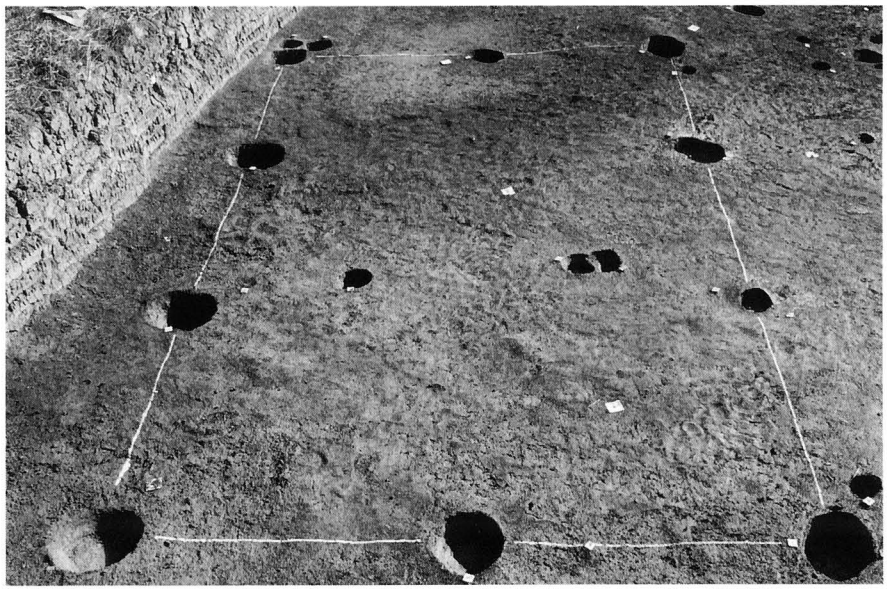
遺跡航空写真（1）頁上が西



遺跡航空写真（2）東から



ＳＴ－０１（南から）

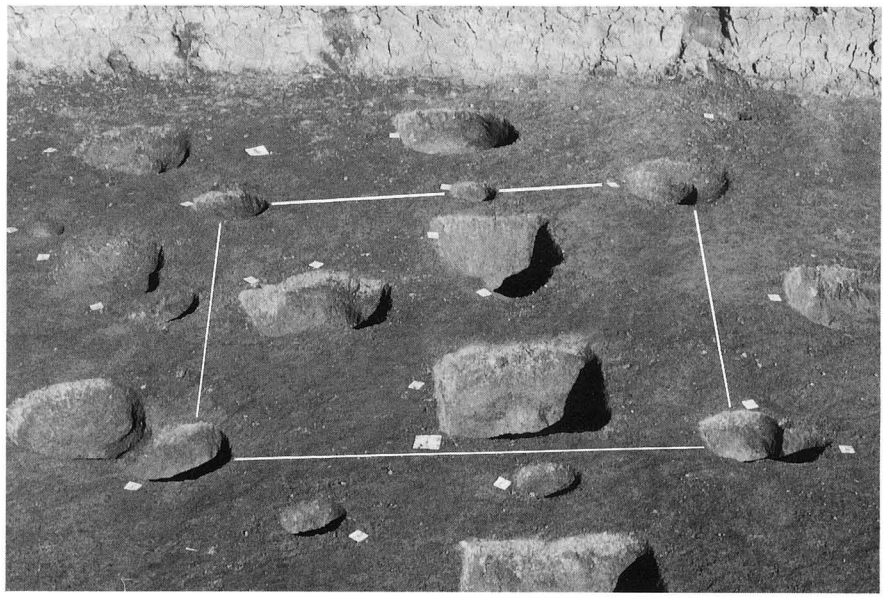


ＳＴ－０２（西から）

ＳＴ－０３（南から）

ＳＴ－０４（南から）

ＳＴ－０５（南から）



ＳＴ－０６（南から）

報告書抄録

ふりがな	かなほこいせき
書名	金鉾遺跡
副書名	国補道路改良(主)上田丸子線建設に伴う遺跡発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	上田市文化財調査報告書
シリーズ番号	第68集
編著者名	中沢徳士
編集機関	上田市教育委員会
所在地	長野県上田市天神二丁目4番74号（〒386－0025）
発行年月日	1998年3月25日
（ふりがな）所収遺跡名	かなほこいせき 金鉾遺跡
（ふりがな）所在地	ながのけんうえだしおおあざほんごうあざかなほこ 長野県上田市大字本郷字金鉾
コード(市町村・遺跡番号)	２０２０３・１３１
北緯・東経	36°22′10″・138°12′51″
調査期間	1996年11月5日～12月27日
調査面積	1,200m²
調査原因	国補道路改良(主)上田丸子線建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
金鉾遺跡	集落址	平安時代	掘立柱建物址 6 土壙 1 溝址 5	土師器 須恵器	

上田市文化財調査報告書第68集

金鉾遺跡

国補道路改良(主)上田丸子線建設に伴う遺跡発掘調査報告書

発行日　平成10年3月25日
発行　長野県上田建設事務所
編集　上田市・上田市教育委員会
長野県上田市天神二丁目4番74号
☎ 0268（23）5102　〒386－0025
印刷　有限会社　アオヤギ印刷